

区政会議における意見への対応状況 (外部評価意見への対応方針)

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
1	R2.11	第1回区政会議	【防災について】 ・「誰もが安心できる災害に強いまちづくりの推進」について、過去の災害から学ぶことが多くあると思うので、熊本地震での情報収集結果公表をお願いしたい。熊本での行政・役所の活動したこと(実績記録)、地域として活動したこと(実績記録)について、それぞれ時系列で、いつどんな仕事・活動が展開されたのか、その記録からどれが阿倍野区にマッチするののかについての所見を出してもらいたい。(北村委員)(事前シート)	・熊本地震は、都市直下型地震で、広範囲に影響を及ぼし、大きな被害をもたらされたと認識をしております。本市からもたくさんの職員を現地に派遣し、支援をさせていただきました。阿倍野区でも職員数名を現地に派遣し、現地の職員と連携して避難所運営などの業務にあらせていただいたところです。その中で、避難所運営とか避難者の支援を行う中での派遣職員が肌で感じたことなどを、大阪市で意見集約し、避難所開設運営ガイドラインを策定、公表しております。阿倍野区ではそのガイドラインを受けまして、10地域の避難所開設運営マニュアルを地域のみなさんとともに策定しました。そのマニュアルを活用して避難所開設運営に係る研修や訓練を実施してまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)	区政会議における回答に記載のとおり	①
2	R2.11	第1回区政会議	【教育について】 ・「子育てしやすく、すべての子ども・青少年が健やかに育つ環境づくり」について、根本的問題は、実学を身に着けずに社会に出る若者が多いことから、経済格差がますます拡大することになっていることである。 ・① 小・中学校は基礎学力の充実に力を入れる事 ・② 現状の大阪府統計結果からは、普通科から大学進学への道を選択するケースが圧倒的に多い。保護者は、大学進学だけが将来の選択肢であるという偏った高学歴志向を見直し、実学重視で中学校から高等学校の進路選択をしっかりと見据えることが重要だと考える。(北村委員)(事前シート)	・「基礎学力の定着が大切である」とのご意見はごもっともであり、各学校でも力を入れているところですので、引き続き区役所としてもサポートしてまいります。 ・「将来の選択肢という部分で偏りがあるので」とのご意見につきましては、子どもたちの将来の選択肢が広がるということは非常に重要なことだと考えており、キャリア教育をはじめ様々な取組みを行っているところです。子どもたちが自ら、なりたい将来像を考え、思い描きながら成長していくことをサポートしてまいります。(浅野教育支援担当課長)	区政会議における回答に記載のとおり	④
3	R2.11	第1回区政会議	【健康づくりについて】 ・「いつまでも元気に暮らせる健康づくり」について、大阪市・阿倍野区への提言に示した「かみかみ体操」の唾液の有効性確認を示していただきたい。例えば、現状では多くが集まらないために、自宅でできる啓発ニュース発信も含めたDVD作成・配布や民放・NHKを使った定期放送など阿倍野区・大阪市でかみかみの高齢者への奨励活動をお願いしたい。(北村委員)(事前シート)	・現在の取組み状況を報告させていただきます。 ・有識者の論文によりまして、唾液の持つ抗ウイルス作用によりまして、ウイルス量と感染力の長期化を一定程度抑制しますので、新型コロナウイルスについても唾液が抗ウイルス効果を持つ可能性が高いとされています。そのため、口腔の体操により唾液分泌が増すことで、口腔内を清潔に保つという効果が出ると考えております。現在阿倍野区社会福祉協議会の生活支援体制整備事業におきまして、3か所の地域包括支援センターおよび専門職である理学療法士とともに体操DVDの作成を準備されています。個人、少人数で身近につながりながら、椅子に座った体操、お口の体操を取り入れる予定であり、区役所としても作成に協力させていただいております。今後高齢者の方々にこのDVDを活用して、奨励していければと考えております。(山内保健副主幹)	回答に記載のとおり ・年度内の「あべのちょこっと体操DVD」作成に向けて、阿倍野区社会福祉協議会の生活支援体制整備事業協議体ワーキングチームにより準備が進められています。	①
4	R2.11	第1回区政会議	【区政会議について】 ・安全・安心部会の一員として、区政会議に防犯・交通対策に関わって警察の傍聴(参加)をお願いしたい。(久保委員)(事前シート)	・阿倍野警察署とは、日常的に連携を密にして、防犯対策や交通安全対策等の取組みを行っております。また、区内の関係行政機関で構成する阿倍野区行政連絡調整会議も年に数回開催しており、阿倍野警察署と意見交換もしております。区政会議等でいただいた警察関係のご意見等につきましては、区役所から情報提供いたします。(土肥区政企画担当課長)	・区政会議でいただいた警察関係のご意見等につきましては、区役所から警察署へ情報提供しました。安全・安心部会長とも相談のうえ、必要に応じて、阿倍野警察署に安全・安心部会への出席を依頼するよう調整してまいります。	②
5	R2.11	第1回区政会議	【交通安全について】 ・地域は、「子供見守り隊」活動をして交通安全・防犯対策を講じています。通学路の時間規制の交通法規を守らない車両がいたり、自転車に乗りながらの携帯電話・メールの使用者が顕著に多いので、10回の広報より、1回の取り締まりを警察をお願いしたい。(久保委員)(事前シート)	・地域におきましては、日々全力を上げて子ども見守り活動に取り組んでいただき、ありがとうございます。 ・警察との連携につきましては、防犯・交通安全対策にとっては非常に重要と考えております。委員よりいただきましたご意見をふまえて、これまで以上に警察とも連携を深めてまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)	・引き続き警察と連携し、防犯啓発の取組みである活動として、令和2年8月から毎月26日の「ひたくり防止カバーとりつけキャンペーン」の際に、交通マナーにかかる啓発を行っています。	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
6	R2.11	第1回区政会議	【交通安全について】 ・高齢者の多い阿倍野区、毎年、どれだけの運転者が返上しているか、運転免許の返上についての広報をお願いしたい。(久保委員)(事前シート)	・警察との連携も、非常に重要と考えております。委員よりいただきましたご意見をふまえて、これまで以上に警察とも連携を深めてまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)	・警察と連携し、区内の免許返上状況について情報提供いただきながら広報活動に取り組んでまいります。	①
7	R2.11	第1回区政会議	【防犯について】 ・「ひったくり防止活動」より「特殊詐欺防止活動」を推進願いたい。(久保委員)(事前シート)	・特殊詐欺防止活動につきましては、コロナ禍に乗じた特殊詐欺防止の啓発を青色防犯パトロールカーにおいて実施させていただいているところです。今後は特殊詐欺防止の啓発とし、地域のみなさまへ出前講座などにより行いたいと考えております。(松下市民協働課長)	・防犯意識の向上に向け、青色防犯パトロールカーでの音声による啓発を実施するとともに、特殊詐欺を題材にした出前講座の実施を行っています。また、区役所来庁者向けに特殊詐欺に関する啓発ティッシュを配布しています。	①
8	R2.11	第1回区政会議	【要援護者名簿について】 ・年々増える高齢者、そして、独居高齢者宅。要援護者登録者の人数は増え続けると考えられます。 私の町会の名簿も確認していますが、気になる事は同居人(配偶者・子供・孫)が居る方、隣家に親族(子供・孫)が居る方、同じ町会内に親族が居る方、介護施設に入っている方(援護が出来ない)、等の方が登録されていて、実際に要援護対象となる方は大きく減少となります。登録されているのは結構ですが、台帳で色分けが必要と思っています。(久保委員)(事前シート)	・要援護者名簿は、要介護3以上、身体障がい者1・2級など一定の条件を満たす方のうち要援護者名簿への登載に同意をいただいた方に加え、要援護者名簿に登載を希望された方(健康ではあるが、一人暮らしで不安な高齢者など)を名簿に登載しております。 ・名簿の活用につきましては、福祉・健康づくり部会の中でもご意見をいただいているところです。地域によって、名簿の整理方法も含め活用方法も様々であると考えております。委員のご意見もふまえ、地域での活用についての検討の場を設定するなど、区社会福祉協議会とともに支援をまいりたいと考えております。(中西保健福祉課長)	・区役所では地域における支えあい体制の構築に向けて区社会福祉協議会と共催で、地域ごとの福祉課題を互いに持ち寄り共有し、解決方法を検討する場として区全体の地域住民や団体、事業者に参加いただく「地域福祉ミーティング」の開催や、各地域単位で福祉課題について話し合う場として「地区懇談会」を実施しております。地域ごとの福祉課題の解決に向けた検討の場として活用いただけるよう支援してまいります。	①
9	R2.11	第1回区政会議	【ごみについて】 ・「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」の実現に向けて、阿倍野区を大阪市で一番きれいな区になるよう、リーダーシップをとって頂きたい。地域は、空家・空地が多くなり雑草・ごみが多く見られます。コンビニエンスストアで買った飲料のポイ捨て等が目立ちます。(久保委員)(事前シート)	・地域の皆さまには日常的に環境美化活動、公園の清掃、さらには、11月、12月クリーンアップ作戦などの取組みをいただき、ありがとうございます。 ・区内の関係行政機関で構成する阿倍野区行政連絡調整会議に環境局、建設局がメンバーに入っており、いろいろと意見交換をする場があります。この課題につきましては、区役所をはじめ、各関連局が連携して取組みを進めることが重要と考えていますので、その会議等を活用いたしまして取組みを進めてまいります。(土肥区政企画担当課長)	・いただきましたご意見につきまして、次回の阿倍野区行政連絡調整会議で情報提供させていただきます。関連局と連携して取組みを進めてまいります。	①
10	R2.11	第1回区政会議	【地域福祉について】 ・資料4-2「阿倍野区地域福祉計画(素案)」のP10にあるように、「地域福祉活動や担い手づくりを支援する」とは、具体的にどのようなことを考えておられるのかお聞きしたい。(上川委員)(事前シート)	・地域福祉活動や担い手づくりを支援するため、退職を機に、社会保険から国民健康保険に切り替える機会を捉えて、地域の活動や老人福祉センターでの事業を紹介するチラシなどをセットにした、いわゆる、「地域デビューキット」を窓口サービス課(保険年金)で配付し、地域活動参加へのきっかけづくりとする取組みを行っています。今後はそれに加え、区社会福祉協議会と連携して地域福祉活動についての情報発信や、担い手づくりを支援してまいります。(中西保健福祉課長)	・「地域デビューキット」の配付に加え、より多くの区民の方に地域福祉活動への参加を呼び掛けるため、「広報あべの」や区社会福祉協議会が発行している広報紙「えいち」への記事掲載や、区役所のSNSを活用した情報発信ツールであるTwitterなどを活用して情報発信を行ってまいります。	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
11	R2.11	第1回区政会議	<p>【教育事業について】</p> <p>・資料5-1の運営方針の概要「子ども・青少年が安心して教育を受け、成長できるまち」の事業に対する予算を見ていると、昨年とほとんど変化がありませんが、具体的にやることは昨年と変わりがないのでしょうか？(上川委員)(事前シート)</p>	<p>・教育関連事業につきましては、限られた予算の中でPDCAを回しながら工夫して事業を構築しております。</p> <p>・令和2年度は新規事業として「子どもの体力向上支援事業」を実施し、小学校に運動指導員を派遣して、鉄棒や跳び箱など、運動のコツ習得に資するよう取り組みました。今後も、区教育会議等のご意見もふまえ、子どもたちにとって今必要なサポートは何かを見極めながら進めていきたいと考えております。</p> <p>・なお、令和3年度は新たな取組みとして学校におけるICT教育の推進や、不登校児童生徒の居場所の拡充などにも取り組んでまいります。(浅野教育支援担当課長)</p> <p>・子育て支援事業につきましては、今年度から区役所子育て支援担当窓口に配置いたしました。子育て支援専門員を来年度も継続配置し、区民のみなさまから多岐にわたる子育て支援サービスについての相談・お問い合わせに対応してまいります。</p> <p>・それから、児童虐待対策の促進につきましては、令和元年度までは要保護児童対策地域協議会運営の必要な事務経費のみでございましたが、今年度4月1日より児童虐待の未然防止やリスクの軽減を図るため、社会福祉士等の専門技術や知識を有する職員を配置いたしまして、ハイリスクケースや潜在的リスクの高い家庭を早期に発見し、早期対応を行っているところでございます。令和3年度につきましても引き続き専門職のスキルアップを図りながら、訪問支援の充実に努めてまいります。(山中保健子育て担当課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	④
12	R2.11	第1回区政会議	<p>【児童虐待対策について】</p> <p>・児童虐待は、現時点でかなり大きな問題であり、またコロナ禍の中、さらに増えるのではないかと懸念されますが、昨年、実際早期発見等がどのくらいなされたのか、昨年における問題点はどのようなことがあり、どう改善されるべきなのか、もしおわかりでしたら、ご教示ください。(上川委員)(事前シート)</p>	<p>・上川委員から実際に早期発見等がどのくらいなされたのかとご質問をいただいております。保育園、幼稚園等への訪問や、関係機関との情報交換・連携などによりまして早期に発見した児童虐待ケースは、4月から9月までの半年間で8世帯12人でございます。また、要対協に登録されておりますハイリスクケースをはじめ71世帯、それから114人の児童に対しまして積極的な訪問支援等を行ったということでございます。</p> <p>・あと、上川委員から問題点も何かあるのかというご質問でございます。適切な保護や支援が必要だとして、この要対協に新たに登録された児童の件数は、平成30年度は41件、それから、令和元年度は74件、今年度は9月末時点で23件になっておりまして、新型コロナウイルスの影響で目に見えて大幅に増加しているという状況ではございませんが、保育園から、緊急事態宣言が出てからあざの増えた子どもがいるとの通報が入ったり、母子家庭のお母さんが新型コロナによる経済不安からパニックで精神科受診となり、不登校児童の養育に支障が生じるなど、様々な影響が生じていると感じております。今後もその影響を注視しながら、児童虐待の未然防止とリスク軽減に努めてまいりたいと考えております。(山中保健子育て担当課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	④
13	R2.11	第1回区政会議	<p>【路上喫煙禁止について】</p> <p>・運営方針4-2-2「阿倍野筋の魅力ある街づくり」における路上喫煙の禁止については、街の美観、区民の健康などいろいろな面から期待が大きいです。周知の仕方が不足していないのでしょうか？看板などを立てるのは、あまり感じのいいものではありませんが、知らない人が多い気がします。また、一般人では注意などできるものでもないのでもどかしさも感じます。周知方法について、よろしく願いいたします。(上川委員)(事前シート)</p>	<p>・周知につきましてはこれまで地域住民のみなさん、事業者の方、団体のみなさんとともに啓発活動に取り組んで周知をしてきているところですが、現在のコロナ禍におきましては、区役所職員と事業者である日本たばこ産業株式会社様との取組みで、月2回啓発を続けている状況です。</p> <p>・今後、商店街などの協力を得まして、現地での周知物の充実とともに、広報紙やホームページ、SNSを活用しましてPRについて充実強化したいと考えております。(松下市民協働課長)</p>	<p>・引き続き区役所職員と日本たばこ産業株式会社様との共同で啓発事業を行っていききたいと考えております。</p> <p>・掲示物について、更新、新設する等、啓発や広報活動を強化してまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
14	R2.11	第1回区政会議	【地域福祉計画・将来ビジョン・運営方針について】 ・大阪市の地域福祉計画でも理念のところで出てきますが、将来ビジョンや地域福祉計画、運営方針でも、最初のどこかに、人権が尊重されるとか、人としても尊重されるといった表現を、どこかで入れていただきたいと思いました。(永岡委員)	・計画には、5つの視点の中で人権という視点は書かせていただいているところです。概要の中にはその記載がないのご指摘かと思ますので、記載について検討いたします。(中西保健福祉課長)	・阿倍野区将来ビジョンの3「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち」や阿倍野区地域福祉計画の概要版の基本理念に「人として尊重される」視点を記載しました。	①
15	R2.11	第1回区政会議	【あべのブランド・魅力向上への取組みについて】 ・阿倍野の魅力のところで、都市景観資源と史跡、商店街、歴史などがありますが、阿倍野の特徴として文化というの一言ほしいと思います。都市景観や文化資源というか、文学やいろんな面もありますので、その文化という言葉として入れていただきたいと思います。(永岡委員)	・ご意見いただきましたとおり、阿倍野区が文化の面でも大変優れた事情も把握しておりますので、何らかこも掲載させていただくような形で取り組んでまいりたいと考えてまいります。(松下市民協働課長)	・阿倍野区将来ビジョン「4 魅力と活力にあふれるまち」の「あべのブランド」の注釈に「文化」の文言を追加いたしました。「あべのブランド」には、文化の観点も盛り込み、情報発信してまいります。	①
16	R2.11	第1回区政会議	【教育について】 ・府の入試の不合格者数に相当するくらい、公立高校に空きが出ています。大阪はやっていませんが、入試を何重にも構えて、公立高校にみんなが行ける形を取っている他府県があります。事前に中学校で子どもたち、そして保護者に方向性をきちっと示してあげたら、たくさんの子が公立高校に行く形になると思います。大阪市の工業高校には志願者が半分しかない学校もありますが、大阪は長く工業高校を維持してきて、技術者を世の中に排出してきています、そういう立派な学校があるのに、なくなっていくのは大阪市が持っている財産をつぶしてしまうことになると思うので、中学校の進路指導でももう少しきちっとした対応をしていただければと思います。(北村委員)	・いただいたご意見につきましては、各中学校校長と情報共有してまいります。(浅野教育支援担当課長)	・子どもたちが自らの将来像を思い描きながら成長できることは重要であり、引き続き区役所としてサポートしてまいります。 ・いただいたご意見は、区教育行政連絡会における中学校校長との意見交換の場等で情報共有してまいります。	①
17	R2.11	第1回区政会議	【要援護者名簿について】 ・要援護者名簿の扱い方について、先ほど発言(令和2年9月の第2回福祉・健康づくり部会で、要援護者の名簿が金庫に入っており、かぎを持っている3人しか開けることができないということに対応を考えていただきたいというのに対して、阿倍野区社会福祉協議会とともに支援してまいりますというの、具体的にどんな対応をなさるのか答えになっていないのではないのか。災害はいつ起こるか分からないわけで、こういう意見が出たときの対応のレスポンスが求められるのではないのか)があったので、改善ということも頭の中に入れていただければと思います。(高岡委員)	→(当日回答できなかったご意見)→	・要援護者名簿は、個人情報の保護などに配慮しながら各地域で日々管理していただき、活用の仕方や保管方法について、各地域で話し合って適切な方法を決めて取り扱っていただくことが重要と考えております。 ・区役所では地域における支えあい体制の構築に向けて区社会福祉協議会と共催で、地域ごとの福祉課題を互いに持ち寄り共有し、解決方法を検討する場として区全体の地域住民や団体、事業者に参加いただく「地域福祉ミーティング」の開催や、各地域単位で福祉課題について話し合う場として「地区懇談会」を実施しております。地域ごとの福祉課題の解決に向けた検討の場として活用いただけるよう支援してまいります。	①
18	R2.11	第1回区政会議	【将来ビジョンについて】 ・「阿倍野区将来ビジョン」について、区民に共有、共感されている実感があまりないという危機感がありました。区政会議委員だけではなく、地域で活動する団体や、グループ、個人も企業も、あと子どもたちなど、いろんな区民を交えてワークショップ、オープンに話せる意見交換会とか開けたらと思いました。具体的なアクション計画としては、例えば地域団体、グループ、企業、区民が将来ビジョンを見て、こんなことがしたい！ということ形にすることを応援する場をつくれませんか？4年後には、もっとみんなが共感できるビジョンであるよう、柔軟に発展・変化されるビジョンでもいいのかと思いました。(岡本委員)(事後シート)	→(事後シート)→	・新たな阿倍野区将来ビジョン(素案)については、案段階で広く市民の皆さまへ公表してご意見をいただき、計画へ反映させるパブリックコメントを1月から2月に実施します。パブリックコメントでいただいたご意見の要旨と区役所の考え方については情報提供させていただきます。 ・より多くの区民の方に阿倍野区将来ビジョンを知っていただくため、機会を捉えて積極的に説明や配布を行うとともに、話し合いの場を検討してまいります。 ・なお、阿倍野区将来ビジョンは4年間を計画期間とする中期的な理念という位置付けですので、このビジョンに基づき、毎年の阿倍野区運営方針においてもビジョンの現状、課題や施策展開の方向性、施策ごとの具体的な事業運営等を記載し、区政会議委員の皆さまに前年度の取組みを評価していただくとともに、ご意見をいただきながら次年度の運営方針として策定してまいります。 ・今後とも、「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」をめざして、取組みを進めてまいります。	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
19	R2.11	第1回区政会議	<p>【防犯について】</p> <p>・運営方針1-2-1「防犯に関する取組み」について、区内の小学校新1年生に対して、企業との連携により防犯ブザーを配布するとありますが、いつの時点で、当該小学生の保護者に周知されるのでしょうか？配布されるという情報が遅くなると、配布された時点ですでに購入してしまっていることも起こりうるのではないかと考えます。寄贈者の側が必ず実行して下さるのなら、少しでも早く、保護者に対して周知をするのがいいのではないのでしょうか。併せて、入学式の当日には、新1年生の手元に届くことが必要かと考えます。(上川委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・本ブザーのご寄附をいただける件につきましては、阿倍野区役所から各市立小学校あて11月上旬に連絡をしております。</p> <p>・具体的な日程につきましては、キューズモール様と市教育委員会事務局で必要数の調整を行い、2月に算出される入学者見込み数を元に2月末から3月中旬に各市立小学校へ直接配送される予定となっている旨を確認しております。保護者への通知は行っておりませんが、入学式当日にはお手元にお届けできる予定となっております。</p>	④
20	R2.11	第1回区政会議	<p>【学力・体力向上について】</p> <p>・運営方針2-1-3「学力・体力等の向上支援」について、「各学校に運動指導員を派遣し、運動技術指導を行うことで子どもの運動に対する苦手意識を克服させ、また指導を通じての運動の楽しさを伝える」という点について、素晴らしい考えだと思います。英語のスピーチ力の向上に力を入れるのもとてもいい取組みだと思いますが、学校は英語や数学だけの世界ではありません。運動技術指導によって、苦手を克服するだけでなく、興味を持つことで大きな才能が開くかもしれません。運動、さらにできれば芸術も視野に入れた取組みを今後期待しています。(上川委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・区役所としても体育や英語に関するサポートは重要であると考えており、さらには芸術につきましても同様に考えております。芸術に関する取組みとして、阿倍野区では『音楽体感事業』を実施しており、小学生の身近な環境において記憶に残るプロの演奏に触れる機会を広く提供し、この体験を通して音楽・芸術に興味をもち、感性豊かな人材の育成につなげることを目的としており、令和3年度も実施してまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
21	R2.11	第1回区政会議	<p>【防災について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震に対する対応として、熊本地震の情報が具体にどの部分に反映されたのか？ ・①避難所について、これまでの防災の会議や、マニュアル作成を行った後に、コロナ問題で表面化した「3密を避ける」ことで、方向転換をした。この早い対応は喜ばしいが、結果からは「公助としての役所が、この方向転換に対して何をやるかが見えてこない。これでは単に場所をかえて、自助・共助に負担を移しただけになるのではと思っている。 ・②糞尿問題について、毎日どれ程の量が出るのかは推計ができるが、区役所は具体的にどう対応する予定なのか？また、熊本はどうしていたのかについて知りたい。 ・③火災について、地震の時には火災は必ず起こると考えておく必要がある。この事への具体の方針やハザードマップは？阪神淡路震災や新潟糸魚川火災の例から参考となる情報は？ ・④水について、公助としてすぐに対応できないという方向のメッセージは出している。これと併行して各家庭での備蓄について、しっかり伝えるまで何度も発信してほしい。 ・⑤「協働」が正しく伝わるように、「防災」こそ、行政は〇〇をするを明確に示してもらいたい。そして、過去に発生した災害の対応例や反省などの例を参考に「自助・共助」と「公助」の分担の違いについて明確な情報を出してほしい。(北村委員)(事後シート) 	<p>→(事後シート)→</p>	<p>□熊本地震の情報が具体にどの部分に反映されたのか？</p> <p>A 東日本大震災や熊本地震における課題や実際に避難所運営に従事した職員の経験をふまえ、大地震など災害発生時の避難所開設・運営のため、大阪市で「避難所開設・運営ガイドライン(令和2年6月改訂)」を作成しました。反映部分については、同ガイドラインに記載されていますのでご参照ください。</p> <p>※下記、大阪市ホームページに掲載されています。</p> <p>https://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/page/0000474277.html</p> <p>A 地区防災計画(平成29年3月策定)・各地区避難所開設運営マニュアル(平成31年3月)により初期初動や避難所に関する事項について示された方向性に沿って、地域と協働で取組みを進めています。</p> <p>①避難所について</p> <p>A 当区では、今般のコロナ禍の状況以前から自宅での避難を含め家庭の備えについて啓発を進めていますが、昨今のコロナ禍における避難所でのリスク回避に自宅での避難も視野に入れて家庭での備えを進めていただくよう啓発をさらに進めています。</p> <p>②糞尿問題</p> <p>A 大阪市が避難所へ簡易トイレを4台備蓄しており、阿倍野区役所として地域へ8台支給しています。大阪市の協定により発災後に仮設トイレを避難所等へ配備する計画となっています。</p> <p>熊本市では、市内24か所の集中備蓄倉庫に簡易トイレを6台備蓄しています。また、被害状況によりレンタル業者から仮設トイレをレンタルする計画となっています。「熊本市地域防災計画(令和2年度版)」</p> <p>③火災</p> <p>A 大阪市では、大規模火災が発生した場合は、広域避難所へ避難いただくよう啓発を進めています。※広域避難場所:同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の避難に適する大きな公園などの場所です。(阿倍野区周辺では、再開発地域(金塚地域)、天王寺公園、長居公園等)</p> <p>④水について</p> <p>A 区民のさまざまな世代に届くよう、区広報紙、区ホームページなどで引き続き啓発を進めてまいります。</p> <p>⑤「協働」が正しく伝わるように、「防災」こそ、行政は〇〇をするを明確に示してもらいたい。</p> <p>A 地域が初期初動で活動するために必要な備品や避難所で必要となる備品・物資の調達・管理は大阪市が担います。(一部、民間事業者等により食事の配給などが行われる場合があります。)</p> <p>地区防災計画・避難所開設運営マニュアルにも記載しておりますように、地域では、初期初動として安否確認、救出、救護、避難誘導、避難所開設運営をお願いしております。</p> <p>行政としても地域と協働して防災対応を行えるよう研修や訓練を行ってまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
22	R2.11	第1回区政会議	<p>【将来ビジョンについて】</p> <p>・まず、「役所は、□□をするから地域は▽▽をしてもらいたい」という働きかけが明確になるプランを期待する。</p> <p>実際に発生する様々な課題の想定やそれらの対処について、掘り下げて検討していないと具体の提示ができないことになる。また、プラン設定の際、地域と役所の協働でのプランの設定・実施なら、想定外の事が発生した場合においても、本当の想定外だと理解されることになる。特に、コロナ問題は、他の災害のように一過性ではなく「With」をつけて語られることに留意したい。私たちの日常そのものが、これまでとは違う生活様式を受け入れざるを得なくなったり、社会の在り方も変わる中で、長期対応「コロナありき」の考え方でプランの見直しが求められるように感じる。(北村委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・新たな阿倍野区将来ビジョンは「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」の実現に向けて、阿倍野区の現状と課題、大阪市全体の施策、社会経済情勢の変化等をふまえて、施策展開の方向性を示しており、この間、地域団体、公募委員、有識者などで構成される区政会議でご説明のうえ、いただいたご意見を反映してまいりました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式が求められ、これまでの方法では対応できない取組みなど、区政運営にも多方面への影響が出ています。コロナ禍での対応については、環境の変化に応じた活動、窓口手続きではオンライン化を進めるなど、ビジョンの各項目の中で記載しているところです。</p> <p>・なお、阿倍野区将来ビジョンは4年間を計画期間とする中期的な理念という位置付けですので、このビジョンに基づき、毎年の阿倍野区運営方針においてもビジョンの現状、課題や施策展開の方向性、施策ごとの具体的な事業運営等を記載し、区政会議委員の皆さまに前年度の取組みを評価していただくとともに、ご意見をいただきながら次年度の運営方針として策定してまいります。</p> <p>・今後とも、「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」をめざして、取組みを進めてまいります。</p>	①
23	R2.11	第1回区政会議	<p>【要援護者名簿について】</p> <p>・この名簿は防災並びに福祉について、重要な名簿で、救出、救護活動並びに福祉では独居老人の見守り等に必要不可欠なもので有る。防災リーダーや民生委員、及び町会長等も把握する必要があるもので、個人情報かも知れないが、地域では知っておかなければならない。この情報がなければ、救えない事も起こるかも知れない。最低限知っておく必要があるのは、町会長、民生委員、地域コーディネーター。この方達がいつでも見られるようにしておく事も必要だと思う。(宮本委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・要援護者名簿は、要介護3以上、身体障がい者1・2級など一定の条件を満たす方のうち要援護者名簿への登載に同意をいただいた方に加え、要援護者名簿に登載を希望された方(健康ではあるが、一人暮らしで不安な高齢者など)を名簿に登載しております。</p> <p>・作成した名簿は、地域振興会、各地区地域活動協議会、民生委員児童委員協議会などに、申請により提供することができることとなっております。</p> <p>・提供した名簿につきましては、名簿を受領した団体に備え付けの要援護者名簿閲覧等管理表に閲覧者等必要事項を記載いただくことにより、町会長なども閲覧することができることとなっております。</p> <p>・また、区役所では、年に2回大幅な名簿の更新を行っており、その機会に更新名簿の提供について地域連絡会議や民生委員・児童委員地区委員長会で情報提供を行い、名簿提供の申請を行っていただけるように努めています。今後とも名簿の申請をしていただけるよう働きかけてまいります。</p>	①
24	R2.11	第1回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>・安否確認や被害状況の報告は誰がするので、すかの質問に、区役所の考え方(回答)は通り一辺倒で市議が言われたように具体性がなく失望しました。(越野委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・安否確認や被害状況の報告については、各地区防災計画(平成29年3月策定)に基づき、町会や班で行い、地域災害対策本部で取りまとめを行い、地域での災害対応や区災害対策本部へご報告いただくこととなります。地域内での役割分担が明確になっていない地域もあり、当区としては、各地域とワークショップなどを通じて、地域の実情に合わせた初期初動対応の体制構築に向けた支援を行ってまいります。</p>	①
25	R2.11	第1回区政会議	<p>【防災・町会について】</p> <p>・大阪市は町会(自治会)の存在をどう考えているか教えてください。大阪市は防災を町会ではなく、地域活動協議会防災部に担当させたいのですが、国民総活躍時代仕事に忙しい町会役員に成り手がなく仕方なく役員をしている状態です。誰が自主防災組織を作るのですか。行政はこの際重い殻を脱ぎ捨てて防災は日常活動をしている町会と協定を結べばどうですか。(越野委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<p>・「自分たちのまちは自分たちで守る」という考え方にたつて、自主防災組織は、地域で活動する団体や地域に居住・勤務する人員から構成されます。地域で活動する団体例として、地域活動協議会、地域振興会、女性会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、PTA等に担っていただいております。</p> <p>・阿倍野区では、すでに地域活動協議会と地域振興会(赤十字奉仕団)を中心に自主防災組織が構成されていると認識しております。</p> <p>・これまでも自主防災組織と連携して、まちなか防災訓練等を実施してきており、引き続き、地域の防災力向上の取組みを進めてまいります。</p>	④

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
26	R2.11	第1回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>一部の人がしか利用できない災害時避難所開設は共助が終わってからと思います。文の里では災害時避難所として不向きなところが多く収容人数も少なく多くを受け入れられる一時避難場所の開設が先かと思えます。(越野委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生すれば、一人ひとりが一時避難場所(公園等)へ避難します。一時避難場所で余震に備え、その後自宅の安全確認を行い、自宅で生活ができそうであれば在宅避難します。 ・自宅で生活できない場合は、一時避難場所へ戻り、避難所が安全に使用できることが確認できるまで待機します。避難所施設の安全が確認できましたら移動します。避難所の安全確認、避難誘導は、自主防災組織が行います。 <p>いただきましたご意見でのご指摘のとおり、各地区防災計画(平成29年3月策定)に基づき、一時避難場所への避難が最優先と考えております。</p>	④
27	R2.11	第1回区政会議	<p>【町会について】</p> <p>町会に入りましょうと勧めるだけでその後はどうするのですか。町会に入会すると班長が回覧や町会費から出ている出産祝、入学祝、敬老祝、弔慰金等をお持ちしてお祝いお慰めをして住民同士の交流を図っていることや、班長は輪番制で多くの班長経験者がいて地域のことをよく知っているので震災時の混乱や不安を防ぐこともできることをアピールしてください。(越野委員)(事後シート)</p>	→(事後シート)→	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりの基礎となる自治会・町内会単位(第一層)の活動等を、区広報紙や区ホームページ、ツイッター等での周知を行うことにより、地域活動の活性化及び、様々な活動主体と地域との連携・協働を促進しております。 ・また、区広報紙令和3年1月号から、毎月1地域ごとに特集スペースを設けており、各地域から活動についてのアピールをさせていただいております。 ・各地域では、地域の広報紙やホームページ等において、町会加入促進啓発が行われております。 ・引き続き、地域活動の周知について、取組みを進めてまいります。 	①
28	R3.3	第2回区政会議	<p>【自らの命を絶つことへの防止対策について】</p> <p>コロナ禍で自殺者が増えていると聞きます。仕事を失い、生活困窮になってしまった人や閉鎖的な家庭環境での深刻な問題により、うつ状態になった人達が自らの命を絶つことへの対策は喫緊の課題です。電話相談「こころの健康相談ダイヤル」を24時間実施しているとのことですが、阿倍野区では、どのような取り組みをしておられるのでしょうか？阿倍野区将来ビジョンに掲げる「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けるまち」という観点からも、この課題について取り組みがあれば知りたいです。(岡島委員)【事前シート】</p>	<p>3月号の広報あべのに「3月は、自殺対策強化月間」という記事を掲載しており、ここに相談窓口として電話相談、またLINEでの相談が紹介されています。まず一つ目の新型コロナこころのフリーダイヤルは、大阪府、大阪市、堺市の合同で取り組んでいる窓口です。2つ目、こころの健康相談統一ダイヤルは厚労省の取り組みで、全国版で取り組まれている内容です。3つ目、新型コロナウイルス感染症に関するこころの悩み相談が大阪市が主になって取り組んでいるもので、それぞれ3月が自殺対策の強化月間として、土日の受付があったり、24時間対応での窓口開催として強化された取組みがされている状況です。阿倍野区としては、こういった相談窓口を区民の方に広く知っていただくため、この広報紙を利用したり、またリーフレットを配架するという形で周知の役割を担っています。また、区としては直接の相談を受けることも日頃の業務としても実施しており、普段から電話や面接を通じてご希望される方に、心の面での相談を受けるという対応を行っております。</p> <p>最後に、自殺予防対策として取り組んでいる自殺未遂者相談支援事業を大阪府、大阪市、堺市と合同で、大阪府警、警察と連携を取って行う事業があります。府内の警察署で取り扱った自殺未遂事案を対象に行っています。未遂者は繰り返し自殺企図、自殺を起こす行動を取られることが多いため、そこをターゲットにして本人またはご家族の方のご相談の希望のある方、同意の得られた方について、情報を警察から区の保健福祉センターに提供を受けています。区の保健福祉センターから、そのご本人さん、あるいはご家族の方に直接連絡を入れることで、その自殺したいと思った、その原因の部分を一緒にお話を聞く中で必要な医療であったり、解決するための支援ができる機関につながっています。そういった取組みの中で、さらなる自殺企図を防ぐという支援につながると考えての取組みを行っています。(山内保健副主幹)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
29	R3.3	第2回区政会議	<p>【ICTの活用について】 阿倍野区将来ビジョンp.10 ICTの活用について「教員サポート講習会」以外、生徒に対してはどのようなことを考えているか。 (上川委員)【事前シート】</p>	<p>本市では、大阪市教育振興基本計画においてICTを活用した教育の推進を掲げ、児童生徒が互いに教え合い、学び合う協働的な学びや、一人一人の能力や特性に応じた指導等を充実させ、授業の質を向上し、最新のICT機器を活用する力を備えた子どもの育成に取り組んでいます。</p> <p>令和2年度に1人1台端末の整備を完了し、今後はデジタルドリル等を活用して、一人一人に合った学びを推進するほか、タブレットに子どもの日々の心境変化等を記録して見える化し、不登校の防止等にも活用されます。</p> <p>新たなICTの取組みを進めるにあたっては、教員のスキル向上や効果的な事業の組立てが重要となります。市教委による教員研修に加え、ICTに特化した教員サポート講習会を区としても実施し支援することで、より効果的な子どもたちの学びにつながると考えており、今後も学校教育を支援してまいります。</p> <p>また、区で実施している不登校児の相談事業にタブレットを活用し、家から出られない子どもにもリモートで相談員の顔を見ながらコミュニケーションがとれるようにすることで、孤立状態にならないような取組みを進めてまいります。教育に関しては、子どもたちにはリアルなコミュニケーションが非常に重要だとは考えておりますが、ICTを効果的に活用することで、より有効な学びの機会を提供していくことができると考えております。(浅野教育支援担当課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	②
30	R3.3	第2回区政会議	<p>【担い手などの人材不足について】 阿倍野区将来ビジョンp.16 担い手などの人材不足…地域の中に新規参加者がとけこむのは難しいが、学校の中では比較的簡単にできるので、小中学校からの取組みも大切では？ (上川委員)【事前シート】</p> <p>今ご回答いただいた防災リーダーを小学校、中学校からやっているというのは私も知っており、地活協がすごく頑張っているのは分かるが、新規参入してきた人が地活協の中に入っていくのは難しいと思う。町内会には入っていても地域の活動には全く参加していないという人もたくさんいると思う。そこに入る前の小中学校というの、転校生もそこで友達ができ一つの輪になれるわけなので、そこで防災も大切だが、その地活協のようなことをする人が大切なんだということをもっと教え込むことによって、その人たちが将来阿倍野にいれば阿倍野で活躍してくれるし、例えばほかの地域に行っても、そういうことが刷り込まれた子どもになっていけば、ちゃんと成長したときには、そういうことを地域で活動してくれる子どもになるのではないかと思うので、もっとたくさん小学校、中学校で取り組んでいただきたい。</p> <p>ボランティアは本当に手がいけないというのが実情です。それを少しでも解決する方法として、道徳の時間というのが昔はよくあったと思うが、やはりそういう場で教えられることによって、学んだことでできるようになるのではないかと思うので、そういう時間が大事だと思う。</p> <p>おっしゃっていただいた説明はよく理解できるし、地活協の方々もすごく頑張ってくださることもよく分かる。ただ、もう一つそれに輪をかけてそういう活動のところが教えるというよりも学ぶ場があれば、きっと良くなるのではないかと考えたので発言させていただいた。 (上川委員)</p>	<p>各地域活動協議会においては、地域のさまざまな分野における地域課題の解決や、まちづくりを目的に各種事業を企画、実施いただいております。その中には子どもを対象にした事業も多く、各小中学校の協力をいただいて、児童・生徒が多数参加している事業もあります。</p> <p>また防災学習などは、小中学校の事業に、区役所、消防署が赴き、地域防災リーダーをはじめ、地域の防災役員さんに直接指導をお願いしているものもあります。</p> <p>今後も引き続き、地域と各小中学校の連携を図り、子どもたちが地域の行事に参加することで、ゆくゆくはその事業に参画できるきっかけになるよう事業を展開してまいります。(松下市民協働課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
31	R3.3	第2回区政会議	【地域活動の支援について】 阿倍野区ビジョンp.16 4(1)で「身近な地域の課題等の解決に向け、さまざまな活動主体の協働・連携による地域活動を支援します。」とあるが、「何を、どうしてくれるのか」など細かい内容を報告してほしい。 (高岡委員)【事前シート】	身近な地域の課題等の解決に向け、さまざまな地域活動を支援する中間支援組織「まちづくりセンター」が直接地域に入り込み、地域活動を支援しております。 そのまちづくりセンターと区役所が協働し、企業・学校・団体など多様な地域活動主体と地域との出会いの機会を創出する事業「あべのほっとカフェ」や「地域活動フォーラム」等を開催することで、それぞれが連携し地域の課題等の解決策を探るきっかけづくりの支援を行っております。 また、他の所属とも連携しながら必要に応じて「大阪市地域公共人材」や「コミュニティビジネス」等の制度を活用していただくことで、地域の課題等の解決をめざすための支援を行っております。 今後とも地域役員のみならず皆様のご意見をいただきながら地域の課題解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)	区政会議における回答に記載のとおり	①
32	R3.3	第2回区政会議	【防災における若年者層への意識啓発について】 阿倍野区将来ビジョンp.7 1(1)で「若年者層への意識啓発の取組みなどを着実に実施します。」とあるが、「何を、どうしてくれるのか」など細かい内容を報告してほしい。 (高岡委員)【事前シート】	この若年者層と申しますのが、小中学生をターゲットとさせていただき、若年者層への意識啓発など防災力の向上の取組みを行っているところです。具体的には災害に関する知識などを習得していただき家族で話し合うきっかけとなるような研修を、区内の小中学生で実施します。また防災訓練については地域防災リーダー等、防災役員のみならず皆様のご指導をいただき、児童生徒が水消火器訓練とか、応急手当、担架作成訓練などを学び、防災意識の向上を図ってまいりたいと考えております。また、地域防災の次世代の担い手として、防災ジュニアリーダーへの災害活動に必要な訓練や研修も引き続き実施してまいりたいと思っております。(松下市民協働課長)	令和3年度運営方針1-1-3「区防災事業(若年者層の防災力向上)」に具体的取組を次のとおり記載しています。 ○日中の災害を想定し、中学生等の若年者層への意識啓発など防災力向上の取組みを進めます。 ・災害に関する知識などを習得し、家族で話し合うきっかけとなるよう防災訓練や研修を区内の小・中学校で実施:10校以上 ・地域防災の次世代の担い手として、防災ジュニアリーダーへ災害活動に必要な訓練や研修の実施:年1回以上	④
33	R3.3	第2回区政会議	【健康寿命について】 阿倍野区地域福祉計画p.4 要介護の期間が阿倍野 男1.2、女2.5で、大阪市1.7、3.6に比べ、短いと思うが、これをもっと短くなるよう取り組んでもらいたい。 (上川委員)【事前シート】	計画の本編版の4ページに記載していますように、阿倍野区の平均寿命は大阪市全体と比較して大きな差はありませんが、一方、健康寿命については、阿倍野区のほうが少し長くなっています。しかしながら、人生100年時代が到来する中、やはり健康寿命のさらなる延伸、介護予防が必要と考えております。 計画本編の14ページのエ、介護予防の推進に記載していますように、人生100年時代を迎える中、やはり健康寿命の延伸に向け、地域主体の健康づくり活動や今後増加が見込まれる認知症に対する予防活動をはじめ、介護予防活動の展開として、関係団体と連携して健康づくり、介護予防、さらには認知症予防の広報、啓発を積極的に進めていくとともにあべのウォーク、ちょこっとウォーク、いきいき百歳体操等、住民主体の健康づくりや通いの場を支援するとともに、区内で実施されている健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりの活動の紹介、情報発信を行い、区民の参加を促してまいりたいと考えております。(中西保健福祉課長)	区政会議における回答に記載のとおり	①
34	R3.3	第2回区政会議	【福祉教育への取組みについて】 阿倍野区地域福祉計画p.15 学校における福祉教育への取組みに温度差があるのはなぜ? (上川委員)【事前シート】	学校における福祉教育は、それぞれの学校において限られた時間の中で工夫され、取り組まれておりますが、福祉読本といったものはあるものの具体的なプログラム集というものはなく、そういった意味で一つの要素ということで温度差があったものと考えております。こうしたことから計画の15ページに記載のとおり、令和2年の3月に阿倍野区地域福祉推進会議のワーキングチームにおいて阿倍野区福祉教育プログラム集を作成しました。このプログラム集を小中学校などで活用いただき福祉学習を広めていくとともに、このプログラム集の中にはボランティア活動体験とか、地域の施設などでご協力いただける、そういった連携した体験ができる機会を設けるようなイメージを作らせていただいております。福祉的な課題の気付きにつなげるなど、次世代の担い手の育成を支援してまいりたいと考えております。(中西保健福祉課長)	区政会議における回答に記載のとおり	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
35	R3.3	第2回区政会議	<p>【コロナ禍での区役所の対応について】</p> <p>区政会議の資料を読んだが、区役所が書いた文書にコロナ禍と書いてある。区役所は区民、市民と同じレベルの受け止め方をしているという感じがする。今の対応はやむなしと違ってこういう書き方をしていると思うが、この1年間に問題や課題を捉えようとした方もいると思われるにも関わらず、それが現れてないのが残念だと思う。</p> <p>将来ビジョンのパブコメへの意見に対する回答が載せられているが、予算的に難しいという回答が書かれていた。確かに大変だと思うが、第一にやらなければいけないことは何なんだということを受け止めて動くことが大事だと思う。今一番やらなければならないことはコロナ対応で、ビジョンを考えることはすごく大事だと思うが、コロナ対応が落ち着いたらこのビジョンだと思う。そこところがちょっと違うのかなというのが一つの意見です。</p> <p>(北村委員)</p>	<p>現在のコロナへの対応として、保健担当でPCR検査関連、疫学調査、その後の健康観察など、感染拡大を防止するため保健所と協力して取り組むとともに、そのワクチン接種という喫緊の課題にこれから注力をしてまいります。一方で、行政の役割として様々な課題対応というのは継続的に取り組んでいく必要があるということで、今般策定いたします将来ビジョン、これは中期的な施策展開の方向性を示しており、共有させていただいておりますことをご理解いただきたいと思います。(山田区長)</p>	<p>区政会議における回答に記載のとおり</p>	④
36	R3.3	第2回区政会議	<p>【モニタリングPCR検査について】</p> <p>今日ニュースで、モニタリングPCR検査をするというニュースが流れていた。まちの中を歩いている人にPCR検査のキットを渡して、それでインターネットで検査の結果を知ることができるというやり方で、狙いは今現在どうなっているのかをチェックすることだと思う。その市中感染の状態がどうなっているかを見て、それから次の対応を考えようとしていると思うが、これは統計的に処理をすることは可能だと思う。ところが、やらないよりはやるほうがましだと思うけれども、おそらく後手に回ると思う。</p> <p>(北村委員)</p>	<p>→(当日回答していないご意見)→</p>	<p>モニタリングPCR検査は、新型コロナウイルス感染症の拡大兆候をつかみ、早期の対策につなげるもので、大阪府では国と連携して3月5日から大阪市内の繁華街3か所などで街を歩く人に参加してもらう形で行われています。大阪府では、国に対して、対象者を「繁華街の飲食店の従業員」に絞った方が感染症拡大防止に効果的であるとの考えを示しています。感染予防に向けては、着実にワクチン接種を進めていくことが、喫緊の課題ではありますが、大阪市ではその体制整備に全市を挙げて取り組んでいるところです。阿倍野区役所といたしても、接種会場、医療従事者の確保をはじめ、関係機関と調整しながら、接種を希望する区民の皆さまに円滑に接種を受けていただけるよう、これからも全力で取り組んでまいります。</p>	①
37	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災における企業との連携について】</p> <p>防災について、長期展望がいろいろあると思う。この間の地震や火災など災害のたびに停電が発生しているのを、大阪市と民間で協力して、小型バッテリーを開発するということが大事ではないかと思う。阿倍野区でも2年ほど前に大きな台風がきたときに、ほぼ一日停電した地域があった。阿倍野区全部ではなかったが、阿倍野区のある部分は真っ暗になって困った。防災や防犯など安心のための防災カメラもアウトになり、街路灯が全部消えた。</p> <p>大阪には、財閥の流れではない大阪から出発している企業がいくつかあるので、大阪市と連携をすればそういうことが可能なんじゃないかなと思う。そういうことを何とか大阪地産の企業と一緒にやって大阪市が取り組んでくれたら、市の補助金とか先行投資してできるんじゃないかなと思うので、持続可能なプランになると思うので、ぜひやってほしいと思う。</p> <p>(北村委員)</p>	<p>大阪市との連携と、企業の連携というご意見については危機管理室に伝えてまいりたいと思っております。また併せて区ですることにつきまして、例えば先ほど小型バッテリーの関係などの提案もいただきましたので、例えば避難所にそういうような設備ができないかなとか、これまた今後いろいろ議論もいただきながら、予算との相談にもなろうかと思っておりますが、区政会議でいただきました意見でございますので、真摯に検討してまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)</p>	<p>地域の拠点となる施設への電源確保の対策として各地域へガソリン式発電機1台とLED作業灯4台を配備しております。また、各避難所へカセットボンベ式発電機を、令和2年度には大阪市立小学校へ、令和3年度には府立高校等へ配備いたします。</p>	④
38	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災における企業との連携について】</p> <p>防犯カメラと防犯灯の件について、ソーラーは日本が進んでいるので、防犯灯も防犯カメラもソーラー式であるべきだと思う。ソーラーはあるが、そこに内包する小型バッテリーがいまいちなので、電機メーカーできちっと開発されたら、今ある防犯灯は全部ソーラーになると思う。電気代はかからず、何かがあったときにもソーラーで、バッテリーもあるので、真っ暗の状態にはならない。</p> <p>(北村委員)</p>	<p>→(当日回答していないご意見)→</p>	<p>大阪市と企業の連携というご意見については危機管理室に伝えてまいりたいと思っております。区役所におきましても、ソーラー発電システム等の動向を注視し、防災や防犯施策への展開について検討してまいります。</p>	④

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
39	R3.3	第2回区政会議	<p>【教育について】</p> <p>阿倍野区地域福祉計画(案)5ページに子どもを巡る動向とあるが、この問題は公教育の問題だと思う。以前にもこの会議で話をしたが、高校進学と将来の職業安定がきつと住みやすいまちにつながるんだと思う。多くの子どもたちが普通科系の高校に進学するが、出口の問題がある。夢だけ与えて卒業後のフォローがない。だから、橋下知事の時代の統計で経済力と学力が比例している。住みやすいまちというのは、子どもたちが安心して働ける場をどういうふうにつけていくかということの問題だと思う。安定した収入がないというのが結果的には経済的な不安定になり、そして子どもたちがその被害に遭うという形になると思う。(北村委員)</p>	→(当日回答していないご意見)→	子どもたちが自らの将来像を思い描きながら成長できることは重要であり、すべての子どもがそれぞれの夢の実現に向けてたくましくチャレンジできるよう引き続きサポートしてまいります。	①
40	R3.3	第2回区政会議	<p>【福祉について】</p> <p>阿倍野区地域福祉計画(案)の基本理念に、めざす状態として地域住民が主体となって地域ごとの特長を活かした福祉活動が進んでいると感じる状態と書かれている。まったく同感で100の地域があれば、100通りの地域福祉があると思う。各地域が地域の実情に見合った独自の地域福祉計画を作成すると掲げているが、その場として地域の人の意見を幅広く拾い集めようと思ったら、従来から行っている「わいわいトーク」が良い手法ではないかと思う。ところが、この1年間コロナの感染症防止対策で会場が使えない、人が集まったらいけないということで、ほとんど実施できていない。開催する方法として、場所を分散して人を小規模に絞ったり、オンラインでの「わいわいトーク」も一つの手法であるのではないかと思う。ところが、実際に地域でやるとなると、機器の問題、場所の問題、いろいろな費用がかさむこともあるので、なかなか実施するのが難しい。その場合、まず相談をしたらどういった支援をもらえるのか、場所、機器やファシリテーターを確保するのでもなかなか難しい問題があるので、そういう支援をお願いしたらできるのかどうかを聞きたいと思う。(石橋委員)</p>	<p>「わいわいトーク」などで意見の交換会を行い、みなさまで考えていっていただくことは重要で、そういう意味合いでこの計画も、気にかける、つながる、支え合う地域づくりという基本目標1にしております。コロナにより、人がなかなか集まり難いということで、オンラインでの開催という話もあり、この場で、こういう支援ができますということはなかなかお答えし難い部分がありますが、区と社会福祉協議会とで協力しながらできる支援をさせていただきたいと思っております。(中西保健福祉課長)</p>	「わいわいトーク」などのオンライン開催にあたって、ファシリテーターの確保については、市民局の地域公共人材の活用も一案と考えており、そのような事業の活用も含めて、区と区社会福祉協議会とで協力しながら「気にかける、つながる、支え合う地域づくり」に向けて支援してまいりたいと考えております。	②
41	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災マップについて】</p> <p>広報あべの3月号に防災マップの特集があり、非常によくできていると関心しているが、紙が大き過ぎる、紙の質が悪過ぎるという欠点がある。継続して保管するには少し無理があると思うので、まちづくりのバージョンができてくるときに大きさとか、紙質などをもう一度考えていただけたらと思う。(石橋委員)</p>	<p>広報あべのの今月号の中面、2面を使った、防災マップ、家庭で防災計画を作らしようという記事について、お褒めの言葉をいただき、ありがとうございます。</p> <p>紙質については、広報紙の紙質に合わせた形で今回挟み込みもさせていただいており、広報紙を活用する形で繰り返し、繰り返し、防災の内容、日頃の備えというのは訴えかけていきたいなと思っていますので、広報紙活用はできませんら年に一度、定期的に時点修正を行いながらやっていきたいと思っております。</p> <p>それとまた併せまして、地域のまちなか防災訓練とか、また出前講座とか、勉強会とかで使っていただくために、別途防災マップを作成したいと思っておりますので、それにつきましてはもう少し良い紙質で作成したいと考えております。</p> <p>大きさのご指摘もいただきましたので、そのご意見も参考にして、今後とも工夫をさせていただきたいと思っております。(松下市民協働課長)</p>	家庭で「我が家の防災プランnavi」を活用し、防災プランを作成した後も継続して保管できるよう紙質を向上し、転入者への配付や地域のまちなか防災訓練・出前講座・勉強会等で配付させていただきます。また、年1回広報紙に折り込んで広く周知できるよう全戸へ配付してまいります。	④
42	R3.3	第2回区政会議	<p>【児童虐待防止対策の促進について】</p> <p>アウトリーチの話があったが、ここにすぐお金をかけんとあかんと思う。大変な仕事なので、なかなかやりたいと思っている人がいない。データとしてはかなり成果はあがっているみたいだが、ここにたくさん資金を投入しなければいけないと思う。(北村委員)</p>	→(当日回答していないご意見)→	令和3年度も引き続き、区役所子育て支援室に社会福祉士等の専門知識や技術を有する職員を配置して、保育士や保健師などの区役所職員とともにチームをつくり、区役所に相談・健診に来ない家庭、保育所等に通っていない児童がいるなど潜在的リスクのある家庭、あるいは支援者を拒否するなど継続的に繋がりにくく、関わりが難しいハイリスクケースに対して、積極的に家庭等を訪問するなどにより、丁寧で粘り強い個別アプローチや関係機関との密な連携によるチームアプローチを継続し、児童虐待の早期発見・早期対応に努めてまいります。(令和3年度予算10,727千円)	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
43	R3.3	第2回区政会議	【あべのブランドについて】 「あべのブランド」に関連して、阿倍野の中の商店街がどんどんと自然に消えていっている。これは次世代の人がいないということで高齢者がやめているんだと思う。これこそ、まちをどんなふうにしていくかという行政のプランがあるのではないと思う。身近な魅力というものは良いと思うが、将来にわたってまちをどうしていくのかは、行政である阿倍野区が考えてもらいたいことだと思う。 (北村委員)	→(当日回答していないご意見)→	「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」の実現に向け、「阿倍野区内の歴史・文化スポットなどの都市景観資源や商店街等の魅力資源」を「あべのブランド」として情報発信を行い、区内の魅力創造及び商業魅力の向上を図っています。 将来にわたってのまちづくりにつきましては、新たに策定した阿倍野区将来ビジョンのもと、いただきましたご意見をふまえ、「魅力と活力あふれるまち」の実現に向け、進めてまいります。	④
44	R3.3	第2回区政会議	【感染拡大防止に向けた営業時間短縮協力金について】 コロナ対策で国から補助金が出ている。阿倍野区には飲食店が非常に多くて1,000店以上あり、みなさん去年からいろんな対策をしながら、時短営業で午後8時で閉めて非常に真面目にやっていたら、それに補助金を付けるということで、これは国の考えなのか、大阪府の考えなのか、市の考えなのかは分からないが、12月と1月の補助金がまだ振り込まれてない。今日現在、どうなっているのか。店を時短したらものすごい影響があり、みなさん困っている。午後8時までというような営業は自分たちは本当はできないが、協力してほしいということでみなさん協力している。それに対して補助金を出すということでみなさん協力しているが、去年の12月分、今年の1月分が今日現在振り込まれてない。これは誰に言ったら良いのか。 (横井委員)	商店街、飲食店の関係、時短営業のご協力をいただきながら、協力金が遅れているという点について、切実な問題であるということはもちろん認識しておりましたが、改めて強く認識をいたしました。それについて議員から状況をご説明いただき、ありがとうございます。いただいたご意見につきましては、経済戦略局につなぐという役割をさせていただきたいと思っております。 (山田区長)	いただきましたご意見につきましては、3月5日に経済戦略局へお伝えしたところ、阿倍野区商店会連盟へのご説明など、商業担当がご対応いただく旨、確認できました。	④
45	R3.3	第2回区政会議	【成人式について】 子どもたちの成人式が年度末までに実施するという話が延びているが、現状として何かお聞きになっているか。 子どもたちの夢であるので、中止ではなく、延期という形でぜひとも実施してほしい。 (高岡委員)	本日、新聞にも掲載されておりますが、「年度内の成人の日記念のつどいの開催は断念する」と市長がコメントをしております。延期後の日程は、コロナの感染者数等の状況を見て、開催日を発表していくということになっておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。 (山田区長)	○大阪市成人の日記念のつどい(内容) 令和2年度の新成人を対象とした「新成人祝賀事業」について、合同会社ユー・エス・ジェイと連携し、5月後半に開催できるよう調整してきましたが、大阪府への新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)では入場者数を大幅に制限されていることから、調整を進めてきた5月後半の開催を延期します。 しかし、延期となっても、大阪市とUSJがともに新成人を祝賀できるようにという思いは変わらず、引き続き調整してまいります。 詳細が決まり次第、区ホームページ等において公表するとともに、対象の方には招待状を送付します。	②
46	R2.11	第1回区政会議	【交通安全について】 高齢者の多い阿倍野区、毎年、どれだけの運転者が返上しているか、運転免許の返上についての広報をお願いしたい。(久保委員)	警察との連携も、非常に重要と考えております。委員よりいただきましたご意見をふまえて、これまで以上に警察とも連携を深めてまいりたいと考えております。(松下市民協働課長)	区役所ホームページにおいて、引き続き運転免許証返納についての啓発を行うとともに、警察と連携し、運転免許証返納状況(毎年集計)について、情報発信してまいります。	①
47	R3.3	第2回区政会議	【百歳体操についての思い】 行政のコロナ対応の拙さで遂に解散となってしまった。 自肅期間中、何度も会員への連絡などを行う辛さ。市民の被った見えない被害を理解できているのだろうか？ 関連して、百歳体操の会場となっていた「エフエーサロン」は、地域の高齢者や障がい者に上手に対応できている非常に「福祉」に熱心な施設といえる。 「集いの場」とは、このようなところを言うのだと思うが、区役所は、このような施設の実態をどれ程知っているのだろうかと思う。 このような施設への運営資金の支援がなされれば、地域の「福祉」活動が区役所のプランに協力してもらえらると思う。 (北村委員)【事後シート】	→(事後シート)→	区役所では各地域が実施するふれあい・交流事業等地域福祉活動を行う施設に直接運営資金の提供等の支援は行っていませんが、定期的に開催状況を把握し、地域の関係者と連携しながら理学療法士、歯科衛生士の派遣によるモチベーションの維持、取組みの継続をサポートしています。また、地域でのさまざまな取組みや、だれもが気軽に参加できる活動の場の情報などを区内のより多くの人に伝えるため紙媒体による情報発信だけでなく、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用した情報発信を行い、地域福祉活動等への参加のきっかけをつくり、新たな住民の参加を促進してまいります。	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
48	R3.3	第2回区政会議	<p>【ソーラーとバッテリー組み合わせた機器の開発について】</p> <p>区のプランに書かれているように、大地震への備えとして、急ぐ必要がある。</p> <p>2年前の9月の台風を今でも忘れられない。</p> <p>阿倍野区の一部ではあったが、阪南町・王子町が約10時間停電した。(復旧は夜中の10時ごろだったと記憶している)そして、夜になって街路灯が消えた闇夜の体験は初めてであったし、9月の時期は暑く、停電で冷蔵庫の食材が心配だという町の人の声も寄せられて非常に困惑したことが強く記憶にある。</p> <p>停電の初期は、昼間でもありすぐ復旧するものだと思っていたが、夕方になって他の地域が復旧している(街路灯でわかる)のに、阪南町・王子町の一部は復旧しておらず、関電には回線がつかず、役所も警察も対応できないという始末。(後でわかったことだが、関電が停電している情報を持っていなかったため、事実上忘れられた地域となっていた。)</p> <p>府道13号線の北畠公園前の信号機も停電で長時間消えたままであったので、阿倍野警察の係官が交通整理をしている有様であった。このことも阿倍野警察に伝え、緊急事態として関電に働きかけを提案したが、警察という組織は市民からの通報ですぐに動けるようになっていないこともよくわかった。</p> <p>更に、当時は、近くに消防車が来ていたのので、停電の事実を伝えたが火事ではないため取り合ってもらえなかったことを記憶している。</p> <p>縦割り行政の問題点ともいえる。</p> <p>この経験から2つの重要なことが見えた。</p> <p>(1)緊急時のホットラインをつくっておくこと。</p> <p>信頼できる情報が入ったら、警察・消防署・区役所が連携して、問題解決にあたれるようにしておいてほしい。(当時の復旧の決め手は、連長が関電の緊急時連絡先を知っていたことであった。私から連長に相談した後に、関電から私に電話連絡があって、停電の実態を伝えられた事で、その後すぐに復旧となった。関電には、停電を自動で認知するシステムとなっているようだが、この時は認知されなかったケースだった。)</p> <p>このように、町会長が警察や区役所に情報発信しても、取り合ってもらえなかったため、関電に情報が伝わらず、結果として市民が迷惑を被ったという事例から学びたい。(あの時はこれで助かったが、特定の個人が緊急連絡先を知っているよりは、組織的に対応できるようになるほうが理にかなっている。)</p> <p>(2)地域の安全・安心のためのインフラ整備を。</p> <p>夜になって街路灯が消えた闇夜の体験から、街路灯はソーラー式であるべきだと痛感し、吾が自治会ではソーラー式街路灯設置の実験をしている。そして、人感センサーでの点灯は十分満足できるものがあることが分かった。ところが連続点灯には、内臓のバッテリーが持たないこともわかった。</p> <p>技術の進歩は速く、ネット通販で改良版が出てきているようだが、当たり外れのあるものも多い。</p> <p>防犯カメラも、今や町の安心・安全に欠かせないグッズとなっているが、これも停電では防犯灯と同様に使えなくなるため、震災後の人のいない町では窃盗も増え、犯罪も増えることが想定される。</p> <p>区政会議で発言したように、大阪には世界的に知られた電気メーカ(パナソニック・三洋電機・シャープ)があり、パナソニックは創業地が福島区。三洋電機は松下幸之助氏の義理の弟</p>	→(事後シート)→	<p>(1)平成30年9月の台風時において、関係機関と連携してまいりましたが、各地域との連絡や関西電力への連絡が困難な状況でありました。</p> <p>いただいたご意見を危機管理室と情報共有し、緊急時の連絡体制強化を図ってまいります。</p> <p>(2)区単独での取組みは困難であるため、危機管理室へいただいたご意見を情報共有してまいります。</p> <p>区役所におきましても地域の拠点となる施設への電源確保の対策として各地域へガソリン式発電機2台とLED作業灯4台を配備しております。また、各避難所へカセットボンベ式発電機を、令和2年度には大阪市立小学校へ、令和3年度には府立高校等へ配備いたします。</p> <p>ソーラー発電システム等の動向を注視し、防災や防犯施策への展開について検討してまいります。</p>	④

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
			<p>が創業者で、パナソニック創業時には2人が共に働いていた関係にあり現在はパナソニックに統合されている。シャープは創業者の早川徳治氏が今の阿倍野区長池町に1924年(T13)「早川金属工業研究所」を設立したことから始まっている。</p> <p>このような企業ベースのある大阪においてこそ「地域の安全・安心を支える商品」の開発(ソーラー部品とバッテリー)がなされるべきだと考える。勿論、企業は採算が取れない事業には協力できないので、大阪市・大阪府が協賛する立場で製品開発を強力に進めてもらいたいと考える。(大阪府内、大阪市内の街路灯は数えきれないほど多数あり、設置の補助を府・市が行うなら技術がある企業連携によって安価で高品質の商品が作り出されることは間違いがないと考える。)</p> <p>関連して、安価で優秀なソーラパネルを地域の情報基地となる連合会館の屋根に設置しておくことが、喫緊の課題であると感じる。</p> <p>コロナ禍で様々な事業の予算が余っていると考えられるが、この予算を「10地域の連合会館の屋根にソーラパネル設置」という方向に先行投資すべきであると考えます。</p> <p>更には、エネファームのような多機能な蓄電池も会館に設置しておいて、いざというときの地域の情報基地となる連合会館での活動を支えるエネルギーを確保しておいてもらいたい。(北村委員)【事後シート】</p>			
49	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>毎年、1月～3月にかけて、阪神淡路大震災並びに東日本大震災の災害報道がされ身が引き締まる思いです。</p> <p>今年度も区役所から防災の取り組み資料が、地域連絡会議・地域掲示板・広報あべので発信されています。</p> <p>●非常持ち出し品(基本品目32点)</p> <p>★大阪市、大阪府も同様の品目が案内されています。</p> <p>①ローソク・ライター (市立小学校・中学校等の公施設では火気厳禁が望ましい・ダンボールベッド・小型テント等燃えやすい)</p> <p>停電対策では、現在の最適品はランタン(乾電池・ソーラー)で各家庭では階数に合わせて所持願いたい。</p> <p>避難所、在宅避難でも、余震による二次災害の火災が心配。大阪北部地震時阿倍野区で停電が発生。</p> <p>ホームセンターでは1,000円程度で販売されている。</p> <p>②ロープ5m～ 阿倍野区の避難所では何に使うのでしょうか。</p> <p>・ローソク・ライター・ロープ5m～ 区役所の職員のご家庭の持ち出し品袋に所持されていますか。</p> <p>③スマホ(携帯電話)・充電器・モバイルバッテリーが持ち出し品に未記入。(所持率100%に近い事から未記入でしょうか)</p> <p>皆さん、スマホの機能はご承知の事と思います。</p> <p>・懐中電灯・携帯ラジオ(テレビ機能がある)・現金(公衆電話用小銭)が不要。</p> <p>・預金通帳・健康保険証・運転免許証・パスポート・お薬手帳等をスマホで撮り保管しておく各写しが不要。</p> <p>●避難の際の注意ポイント(広報あべの)</p> <p>★書き加えて頂きたい事。</p> <p>①避難所へ避難時は戸締りと雨戸を閉めま</p>	→(事後シート)→	<p>非常持ち出し品については、あくまでも一例を掲載させていただいており、各家庭に必要なものをご準備いただけるよう啓発を進めています。</p> <p>ロープは、避難している時に救出・救護を行う際に活用するものですので、必要に応じてご準備いただけるよう啓発を進めています。</p> <p>スマートフォンは重要な通信手段であり、電源確保のためのモバイルバッテリーについて、非常持ち出し品とすることは有効と考えます。</p> <p>市民防災マニュアルP16ページに携帯電話充電器を家庭に備えておくものに掲載しております。</p> <p>いただいたご意見を参考に非常持ち出し品にかかる広報を充実してまいります。</p> <p>避難の際の注意ポイントについて</p> <p>「我が家の防災プランnavi」は、家族で話し合うきっかけや気付きを促すために作成しており、各家庭で備え等の状況が違っていると考える。今後も自助の取組みが行われるよう支援してまいります。</p> <p>①避難時に戸締り等扉を閉めることによりその後の余震で扉が歪んで開かなくなることが考えられますので、住宅の損傷等により各戸で判断することが重要と考えます。</p> <p>②安否確認の取組みについては、阿倍野区社会福祉協議会が実施している黄色いリボンの取組みと連携して行っている地域もありますが、各地域でルールを定め進めている取組みです。「我が家の防災プランnavi」では、基本的事項を掲載しておりますので、黄色いリボンの取組みについては、その主旨から地域の状況に応じた運用をお願いしているところです。</p> <p>黄色いリボンの有効性については、阿倍野区社会福祉協議会とも連携して広報してまいります。</p> <p>③頭を守ることは重要であり、掲載について検討してまいります。</p>	④

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類	
			<p>しょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の空家には泥棒が必ず発生しています。 <p>②在宅避難、避難所へ避難時に、安全宅は黄色いリボン(黄色い布)を付けて安全告知をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域町会役員による安否確認が迅速に進められる。 ・黄色いリボン(区社協)については、町会役員の方にお聞きください。 <p>③避難所へ避難時はヘルメット・座布団等で頭部を守りましょう。</p> <p>●大阪市危機管理室の縛りがありますが、阿倍野区の特성에合わせて防災対策の広報をお願いしたい。 (久保委員)【事後シート】</p>				
50	R3.3	第2回区政会議	<p>【阿倍野区役所保健担当部署について】</p> <p>コロナ禍では、大変なご苦勞をされたと察する。</p> <p>福祉計画の中でも山中課長の担当エリアは、センシティブな情報を扱い、更には心理的にも負担の多い「喜ばれない仕事」をされている。ここには、せめて予算面での応援が必要だと発言させていただいた。</p> <p>区役所内では、職務を進めるにあたって様々な専門的知識が必要とされると推察されるが、保健など「人」を対象として動く部署と、ある程度事務的に処理が流れる部署とでは、職員数も大きく違っているのは必然。</p> <p>しかし、人数だけでは解決できない問題も多く、平時でも大変な部署が「コロナ」の対応も担っているということに、労いの言葉をかけずにはいられない。</p> <p>この部署では、コロナへの改善策を検討する間もなく日々の処理に追われていることと推察する。</p> <p>であるから、トップに考えてもらって組織で動けることを期待して、意見を発信している次第です。</p> <p>大阪市を動かすのは、「ボトムアップでの区からの意見」と「実践の取組」だと考えるので、区長には議会に動いてもらう情報発信を願う。 (北村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、大阪府下での検査体制の充実・拡大にもより、日々多くの陽性者が発生しております。阿倍野区役所としては、患者への疫学調査、その後の健康観察や濃厚接触者への感染予防の指導などを感染拡大を防止するため保健所と協力して行っております。</p> <p>また、5月以降にはコロナワクチンの集団接種を開始し、長期的な感染予防に繋げていきます。</p> <p>関係業務の組織としての動きや人員の確保については、これまで区長会議などでテーマとされているところですが、必要に応じて意見を述べ、議論を継続してまいります。</p>	④	
51	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>防災については、市議員の言われたように選択共同体よりも地域共同体である町内会を活用されたらどうですか。(選択共同体は地域共同体と違い全住民把握出来ない)</p> <p>戦前の隣組制度は互いに監視する組織で反対ですが現在は他人を監視するのではなく関心を持つ時代になりました。</p> <p>明日にでも起こるか分からない防災だけ大阪市は自治会(町内会)と協定を結んではどうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎町中に消火器もないのに消火器訓練。 ◎コロナ禍で災害時避難所開設訓練が必要か。 ◎最大限避難できる一時避難所の収容人数の正確な広報。 ◎防災家庭教育では地域の実情にあった手作り教材が必要。 <p>基本—災害時住民の安否確認は誰がするのか明確でない— (越野委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>○防災だけ大阪市は自治会(町内会)と協定を結んではどうでしょうか。</p> <p>・自分たちのまちは自分たちで守る」という考え方にたつて、自主防災組織は、地域で活動する団体や地域に居住・勤務する人員から構成されます。地域で活動する団体例として、地域活動協議会、地域振興会、女性会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、PTA等に担っていただいております。阿倍野区では、すでに地域活動協議会と地域振興会(赤十字奉仕団)を中心に自主防災組織が構成されていると認識しております。これまでも自主防災組織と連携して、まちなか防災訓練等を実施してきており、引き続き、地域の防災力向上の取組みを進めてまいります。</p> <p>また、ご意見として大阪市危機管理室に情報共有させていただきます。</p> <p>○基本—災害時住民の安否確認は誰がするのか明確でない—</p> <p>・安否確認や被害状況の報告については、各地区防災計画(平成29年3月策定)に基づき、町会や班で行い、地域災害対策本部で取りまとめを行い、地域での災害対応や区災害対策本部へご報告いただくこととなります。地域内での役割分担が明確になっていない地域もあり、当区としては、各地域とワークショップなどを通じて、地域の実情に合わせた初期初動対応の体制構築に向けた支援を行ってまいります。</p>	④	

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
52	R3.3	第2回区政会議	【安心・安全について】 区政会議では安全・安心をセットで使うとき安全が先の理由は何ですか。 警察・消防は安全が先だと思いますが行政は安心が先だと思います。 (越野委員)【事後シート】	→(事後シート)→	大阪市としての表現が「安全・安心」が大多数を占めていることや、大阪府警と大阪市との連携についても「安全・安心なまちづくり」と表現していることもあり、区としましても「安全・安心」と表現しております。	④
53	R3.3	第2回区政会議	【防災について】 阿倍野区運営方針の1-1-1の「自助」「共助」の大切さ、は緊急の避難や日頃の対策として地域での取り組みが必要ですが、やはり「公助」が共通の基盤として必要なところと思います。現在の地域力、家庭の脆弱さを考えると、災害時の対応としまして、「…「公助」とともに、「自助」「共助」が大切さを…」というように、公助の整備も合わせて記しておくのがよいのではないかと思います。 (永岡委員)【事後シート】	→(事後シート)→	阿倍野区地域防災計画において、公助として区役所が行う自助・共助への支援の取組みを明記しています。ご提案を受けまして、今後、運営方針等における表現方法について、見直しも含めて検討してまいります。	④
54	R3.3	第2回区政会議	【教育について】 阿倍野区運営方針の2-1-2の「英語力の向上及び異文化への理解を促進します」という点につきまして、英語は国際的なコミュニケーションのツールとしても必要ですので、英語力の向上は必要と思いますが、同時に、近隣の国々との草の根の交流によって平和を創り出し、また日本における外国にルーツをもつ人々への文化理解の促進など、若い世代にとって東アジアの文化理解を育み、言語を学ぶ機会も増やしてほしいと思います。 (永岡委員)【事後シート】	→(事後シート)→	委員ご指摘のとおり、異文化理解は英語圏のみならず、近隣諸国の文化についての理解も重要です。現在も区内各校では東アジアをはじめとして、異文化理解促進の取組みが進められているところであり、いただいたご意見は各学校長とも共有するとともに、サポートしてまいります。	①
55	R3.3	第2回区政会議	【地域活動協議会の支援について】 阿倍野区運営方針経営課題4の地域活動協議会の支援に関しまして、新しい市民層、若い世代が参加できる柔軟な地域の仕組みが必要ですが、地域活動協議会が生まれた経緯と今後の展開を思います時、このテーマについては、過去の歴史的な地域活動の蓄積をふまえて、地域振興会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員など、それぞれの担ってきた目的と役割、地域の自治の歴史をふまえて、丁寧に議論して、問題を整理しておく必要があると思います。地活協は、それらの各地域活動の働きをつなぐ連携組織としての機能が役割だったのではないかと理解しておりますが、地域の立場、地域福祉推進の立場から、あらためて共通理解を深めたいと願っております。 (永岡委員)【事後シート】	→(事後シート)→	阿倍野区では、豊かな地域コミュニティが健在であり、連合振興町会や地区社会福祉協議会をはじめ地域の各種団体(民生委員児童委員協議会、青少年指導員連絡協議会、青少年福祉委員連絡協議会、子ども会、PTA協議会、女性団体協議会、老人クラブ等)が様々な活動に取り組んで来られています。 しかし、少子高齢化の進展など地域コミュニティを取り巻く様々な環境変化によって、人と人とのつながりの希薄化や、地域活動の担い手不足などの課題がみられるようになってきた中、平成24年度から順次、地域活動協議会の形成がされました。 地域活動協議会は、おおむね小学校区(阿倍野区では連合地域)を基本単位に地域の実情に応じた形で各種地域団体など、たくさんの方が幅広く参加し地域の将来像を共有しながら、地域の活性化や課題解決に取り組む地域運営の仕組みです。 地活協は、行政では担えない、他の市民活動団体が行っていない活動(準行政的機能)や、地域の将来像を共有しながら、住民の様々な意見の調整・とりまとめ(総意形成機能)の2つの大きな機能を担っています。 地活協の広報につきましては、阿倍野区のホームページや区広報紙、阿倍野区が委託している行政と地域の間支援組織「まちづくりセンター」の広報紙、ホームページ等で啓発を行っております。 これまでも、地域と連携しながら取組みを進めてまいりましたが、委員ご指摘のとおり、今後もより一層各種地域団体との関係を大事にし、理解を深めながら取組みを進めてまいります。	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
56	R3.3	第2回区政会議	<p>【交通安全や駐輪について】</p> <p>安全安心に関してもまた魅力と活気にあふれるまちにも関連するのですが、歩道における自転車の走行と歩道内での駐輪について、取り組む必要を感じます。例えば、自転車での歩道走行においても両面に歩道がある場合は片側通行にする(車と同様)とかできないものでしょうか。また逆行する場合は自転車から降りて押すなど。関東のある地域ではそのようなことが実際行われていると聞きました。また阿倍野筋のハルカスから阿部野橋の交差点までの歩道の自転車通行は、規制することはできないのでしょうか。</p> <p>人々の間を縫うように走る自転車は危険すぎると思います。</p> <p>それと、歩道を走る自転車が日傘をさしていることにも危険を感じます。</p> <p>(平尾委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>自転車の歩道通行のルールを設定することについては、歩道を利用する方の合意や徹底といった点で難しい課題と考えておりますが、委員ご案内の他都市の状況も確認し、警察と連携のうえ、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>これまでも自転車マナーに関する啓発に取り組んでまいりましたが、引き続き警察署とも連携し、自転車マナーに関する啓発活動を進めてまいります。</p>	④
57	R3.3	第2回区政会議	<p>【区政会議の運営について】</p> <p>コロナ禍での開催であり、区政会議の終了時間を20時半までと議長よりお話があり、スムーズな議事進行を優先するために質問したい内容を控えておりましたが、特定の委員の質問が多く採用される結果となり、あえて質問を自粛したことによって他の方の質問時間が増えるという偏った結果となってしまいました。</p> <p>そのことにより、区政会議にて阿倍野区の未来を話す貴重な機会に個人的な見解を話されることが取りあげられてしまう現状は、委員としてその場に参加している意味がないように思われます。</p> <p>参加しているメンバーも議長が時間配分をしていることをきちんと理解し、各委員としての自覚を高めなければ、結果としてその配慮を自覚していない方の質問が多くなり、配慮した委員の質問時間が無くなるというおかしな進め方になってしまいます。</p> <p>区政会議委員はもっと発言するべきだとのご意見もありましたが、個人的な意見ではなく、委員がそれぞれの立場を意識した発言をする機会がもっと増えることを強く望みます。</p> <p>(松尾(紀)委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>区政会議は、各区において、区長の所管に属する施策及び事業について、立案段階から意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価にかかる意見を聴くことを目的として開催しています。</p> <p>地域団体より推薦された委員は、その地域団体を代表してご参加いただいておりますことから、これまでもその立場を意識した発言をいただいているかと思っておりますが、区役所としてもその立場を意識した発言をお願いしたいと考えております。</p> <p>区政会議の議事進行や運営については、区役所内で検討するとともに議長へ相談のうえ、その目的に即して適切に運営されるよう進めてまいります。</p>	②
58	R3.3	第2回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>阿倍野区将来ビジョン(案)p.22災害時に備えて、「自助」「共助」による備えが出来ていると感じる区民の割合令和2年度に於いて37.7%と減少している。昔は向こう三軒両隣りで近所の助け合いがかなりあった。昨今マンションの増加等により近所付き合いが希薄な現状で、今後益々減少していくことが予想される。年令の高い人は色々経験されているが、若い人たちは余り関心がないのが心配です。この若い人達の意識高揚させる為にはどう対処していけば良いか？町会でも問題になっている。(宮本委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>若い人達の防災等の意識高揚については、課題として認識しています。子育て層はマンション居住者が多いことから平成30年度より子育て層をターゲットにホームページや広報紙で啓発を進めるなど工夫を行ってまいりました。</p> <p>令和2年度よりマンション住民をターゲットにマンションの防災対策について自治会や管理組合を対象に啓発を進めています。</p> <p>若年者層の意識の向上に向けて出前講座やSNSの活用など啓発を進めてまいります。</p> <p>各地域が実施している防災の取組みに、若年者層の参加・参画を推進するため、支援してまいります。</p>	④
59	R3.3	第2回区政会議	<p>【学校と連携した地域活動について】</p> <p>地域の事業で、小学校と連携し町会と一緒に清掃活動をしている地域の話聞き、工夫をされていると感じました。例えば小中学生への防災訓練においては、防災リーダーなども参画していますが、クラスごとではなく、避難所(当地域では3か所)ごとに分かれて行うなど、地域(町会)のカラーを出していくことで、子どもたちにもそして保護者にも町会の活動をアピールしたいと考えます。他の地域での特色ある活動など情報を教えてほしい。</p> <p>(山崎委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>地域のつながりの基礎となる自治会・町内会単位(第一層)の活動等を、区広報紙や区ホームページ、ツイッター等での周知を行うことにより、地域活動の活性化及び、様々な活動主体と地域との連携・協働を促進してまいります。</p> <p>また、区広報紙令和3年1月号から、毎月1地域ごとに特集スペースを設けており、各地域から活動についてのアピールをいただいております。</p> <p>各地域では、地域の広報紙やホームページ等において、町会加入促進啓発が行われております。</p> <p>引き続き、地域活動の周知や地域間の情報共有につきまして取組みを進めてまいります。</p>	①
60	R3.3	第2回区政会議	<p>【防犯マップについて】</p> <p>防犯マップを掲示板に貼っていますが、マップが情報を空き巣や泥棒にあたえているという意見があります。</p> <p>(山崎委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>区が管理している区広報掲示板には避難所マップの掲示(令和3年3月31日まで掲示)を行ってまいりました。委員からご意見をいただきました「防犯マップ」の掲示は行っておりません。</p>	④

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
61	R3.7	第1回区政会議	<p>【福祉避難所について】</p> <p>防災事業について、政府の考えとしては、一般避難所へ行った後に、援護を必要とする方がそこから福祉避難所へ移るとするのは手数がかかるので、福祉避難所が先に設置される必要があるとの記事が新聞に掲載されていたが、そのことについて教えてほしい。</p> <p>要援護者名簿があるので、避難の際には福祉避難所へ直接行ってもらうことができれば早く避難することができ、負担もかからないと思う。(山梨委員)</p>	<p>現在、阿倍野区では福祉避難所として、民間の福祉施設、高齢者施設、障がい者施設へ協力を働きかけ、現在11施設の福祉避難所の指定を進めてきました。引き続き福祉施設の協力を得られるよう働きかけ、拡充に努めてまいります。(松下市民協働課長)</p>	<p>阿倍野区では福祉避難所として、民間の福祉施設、高齢者施設、障がい者施設へ協力を働きかけ、現在11施設の福祉避難所の指定を進めてきました。引き続き福祉施設の協力を得られるよう働きかけ、拡充に努めてまいります。災害時には、福祉避難所施設も被害を受ける可能性があり、避難できない状況も想定され、大阪市では、二次避難としています。今後は、福祉避難所への一時避難について、内閣府が令和3年度にモデル事業を実施しており、阿倍野区としても検証結果などをふまえ、検討を進めてまいります。</p>	③
62	R3.7	第1回区政会議	<p>【不登校の児童・生徒への対応について】</p> <p>ICTを使った不登校の児童・生徒に対する対応という話があったが、ICT以外の対応というのはどのような形でされるのか。</p> <p>不登校の児童・生徒が、ICTを利用することで救われるということを最近よく聞かすが、学校や勉強が嫌いな子どももいると思うので、学校に楽しく行ってもらえるような取組みは行政がしているのが一番良いと思う。(上川委員)</p>	<p>不登校児などの相談支援事業については、資料の67ページ(令和3年度阿倍野区運営方針具体的取組2-1-3)に掲載しており、ICTもタブレットも使いながらということではありますが、引き続き従来どおりの対面での相談事業等も充実させながら進めてまいります。(浅野教育支援担当課長)</p>	<p>区政会議における回答に記載のとおり</p>	①
63	R3.7	第1回区政会議	<p>【あべのオレンジメールについて】</p> <p>オレンジメールを登録して、行方不明になってしまった方を見守る目が増えると良いことだと思うが、現時点でどのぐらいの方がオレンジメールに登録していて、これからそれをどうやって増やしていくかを教えてほしい。(上川委員)</p>	<p>社会福祉協議会の見守り相談室から、様々な機会をとらえて登録をお願いしていただいています。今後とも、阿倍野区役所としても社会福祉協議会と連携しながら、引き続き登録していただく方を増やしていくように努めてまいります。</p> <p>現在のあべのオレンジメールの登録者数については、今手元にありませんので、確認してお伝えいたします。(山中保健福祉課長)</p>	<p>オレンジメールの登録者数は、令和3年4月現在、70名です。</p>	④
64	R3.7	第1回区政会議	<p>【コロナ禍での取組みについて】</p> <p>コロナに関係なく実施しなければならないことがたくさんあることは分かるが、コロナ問題で昨年何回もお願してきたが、聞き入れられずに、無策のまま日が過ぎ、今に至っているように感じる。地活の予算活用でも相当戻入されたと聞いている。コロナ感染症が少ないとはいえ相当の重症者、そして死者が出ているのは事実であり、これは誰の責任になるのか。2025年には大阪がメインとなる大阪万博が開かれるので、こういう点をぜひ反省していただき、万博の危機管理を進めていただきたいと思います。(北村委員)</p>	<p>コロナ対応としては保健担当でPCR検査関連、疫学調査、その後の健康観察など、感染拡大を防止するために保健所と協力して取組みを行っており、現在は特にワクチン接種という課題に注力をしてきたところです。</p> <p>また一方で、コロナ対応を行いながら、行政の役割として様々な課題対応というのは継続的に取り組んでいく必要があると認識しています。今年4月に策定の区将来ビジョンに基づき、中期的な施策展開の方向性も示しており、これに基づき毎年度の運営方針も定めながら各施策事業を進めさせていただいていますので、ご理解を賜りたいと思います。(山田区長)</p>	<p>区政会議における回答に記載のとおり</p>	④
65	R3.7	第1回区政会議	<p>【交通安全について】</p> <p>先日小学校の子どもの列に車が突っ込み、亡くなられた事故があった。阿倍野でも細い道の通学路や、危ない状態、ガードレールのない歩道があるので、いろいろ対応しているとは思いますが心配している。交通安全に関する取組みの中で、子どもの登下校時の見守りをしているとのことだが、体制の整備をどうするかをチェックして、足りないところがないか確認してほしい。(永岡委員)</p> <p>先ほども話があったが、小学校児童の相当ひどい状況の交通事故があったということで、私たちが相当悲しんでいる。阿倍野区には小学校10校あるが、毎朝7時半から8時半まで子どもの安全のために見守っていただいている方が多々おられる。阿倍野区では事故というのはあまり聞いていないが、本当に大変なお仕事であり、大雨の中でも傘を差しカッパを着て、ずぶ濡れになりながら子どもたちの安全を見守っているということも、区役所として認識していただきたいと思う。(高岡委員)</p>	<p>通学路に関しては交通安全プログラムというメニューがあり、それに従い区役所、学校、建設局、警察がタッグを組み、通学路の安全確認を実際に見て先生方の意見も聞きながら確認するという機会もありますので、そういったところをよりしっかりと充実させ、交通安全を進めてまいりたいと思っています。</p> <p>また、プログラムと合わせて、小学校の児童・生徒に対する交通安全教室も重点的に実施しています。本来でしたら区役所職員と警察が連携して学校へ赴き、実際に現地で指導しているところですが、今年度はコロナ禍でもありましたので、区役所職員と警察が連携してDVDを作成し、全校に配付して先生方をお願いして代えているところです。(松下市民協働課長)</p>	<p>平素より子どもたちの安全のため、地域の皆様方に登下校時の見守りを続けていただいているおかげで、区内では登下校中の大きな事故もなく、安全に通学できておりますことに心より感謝申し上げます。</p> <p>区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところです。これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確認とその対策を検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険箇所の洗い出しや対応策の検討を行っていきます。</p>	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
66	R3.7	第1回区政会議	<p>【ヤングケアラーについて】</p> <p>児童虐待、不登校の話があったが、大阪市で今度ヤングケアラーの調査をすることになっており、特に家族介護で、子どもたちが介護で負担になっているケース、見えにくいケースで、これも虐待の形だと思うが、家庭ですごく頑張っていてしんどい思いをされている方たちがおられると思う。そういう問題についてもこの中に含んで考えているのか、もし含んでいなければ加えていただきたい。 (永岡委員)</p>	<p>当区では、昨年度から児童虐待防止アウトリーチ事業として児童虐待対応専門員を2名配置し、2か月に1回程度、幼稚園、保育所、学校等を回り、保育等で起きていることを区役所へ共有していただける仕組みを作っています。ヤングケアラーの問題については、今後本市で取り組みます施策、調査等にこの仕組みも最大限活用して取り組んでまいります。(伊村保健子育て担当課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	④
67	R3.7	第1回区政会議	<p>【みんなで支えあう地域づくりについて】</p> <p>福祉課題やニーズ把握を行って、地域自らが見守り体制等を構築して、新たなネットワークづくりができるよう支援するところがあるが、福祉課題やニーズの把握を行って、その解決のための制度サービスの周知や、区の自治の裁量でどれだけ適切にサービスが届くかどうか、そういうところは地域で見守り、みなさまですというのも当然ですが、行政でしっかりと周知徹底できる体制をお願いしたい。 今特にコロナ禍による生活困窮者への特例貸付などでもずっと延長で手続きがされているが、なかなか申請をしにくい方などが区の中でおられる場合に対応できるような周知徹底などがこの中に含まれていると良いと思う。 (永岡委員)</p>	<p>資料の75ページ(令和3年度阿倍野区運営方針具体的取組3-1-2)に「受け止める相談支援体制の充実」を設けており、地域の福祉課題、ニーズについて、複合的な課題を抱えた方、高齢者の親御さんとその子どもさん、精神疾患やひきこもり、複合的な課題を抱えた要援護者の方が増えている中で、課題解決に向けて、地域の方と専門職、専門機関とのネットワークづくりを進めて、「総合的な支援調整の場(つながる場)」を福祉担当で開催しています。こういった場を利用して、お一人お一人の様々な福祉課題について、解決に向けて取り組んでいます。(山中保健福祉課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	④
68	R3.7	第1回区政会議	<p>【地域福祉について】</p> <p>資料の32ページ(令和2年度阿倍野区運営方針めざす成果及び戦略3-1)の指標について、地域福祉についての認知度がものすごく低い。地域福祉を推進するというのは、地域の人たちにとってどういう意味を持っているか、もっと計画の推進の中で広げていくための方法も考えていかないといけないと思う。そういう点では、項目の中に地域福祉計画の地域福祉の推進のための手立てを行っていく、いろいろな対策を行って理解を高めていくということが1つ項目としてあってもいいのじゃないかなと思う。 (永岡委員)</p>	<p>「阿倍野区地域福祉計画」の周知については、新型コロナ禍でなかなかイベントなどを活用した周知活動がしにくい状況はありますが、今後の感染状況も見ながら、この「地域福祉計画」の認知度を区民の方に広めていくことを地道に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をお願いいたします。(山中保健福祉課長)</p>	区政会議における回答に記載のとおり	②
69	R3.7	第1回区政会議	<p>【保健医療体制について】</p> <p>保健医療、特に医療体制が、この間すごく難しい状態にあったところへコロナの問題が起こって感染が広がってきたので、そういう保健医療体制そのものの整備を区レベルでどう行っていくか、がん検診や健診のような予防だけではなく、様々な病気や感染症など医療がすぐに必要な場合の対応を区でどう考えていくのかについて、困らない医療体制の整備などの表現がもう一つ項目としてあっても良いのではないかなと思う。 (永岡委員)</p>	→(当日回答していないご意見)→	<p>医療体制の整備に関しては、大阪府・大阪市(健康局)がそれぞれ所管となって整備を行っております。感染症予防対策の充実については、健康局運営方針に記載があり、区としても引き続き、健康局と情報共有を行い、区医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携して正確な情報発信等に努めてまいります。</p>	④
70	R3.7	第1回区政会議	<p>【阿倍野区運営方針経営課題3について】</p> <p>阿倍野区運営方針経営課題3の分野は全体として、もう少し中身を増やしたり、項目を追加・整理していただきたい。全体の将来ビジョンとの関係もあると思うが、ご検討をお願いしたい。 (永岡委員)</p>	<p>経営課題3については、ビジョンを含めている議論させていただきました。めざす成果及び戦略3-1は福祉課題を中心とした分野、3-2については健康の分野で特定健診、ウォーキング、百歳体操など健康づくりの項目を、地域保健で活動しているメニューを含めて取り組みするというので、ビジョンも含めて反映させていただいています。委員ご指摘のとおり、なかなかこれ以上メニューが見い出せなかったというのが事実でございます。(土肥区政企画担当課長)</p>	<p>いただきましたご意見をふまえ、令和4年度阿倍野区運営方針策定時に項目の追加・整理を検討してまいります。</p>	②

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
71	R3.7	第1回区政会議	<p>【区政会議の運営について】 会議の進め方について、…区側の読み上げがあると思っているので区政会議委員の方々も読んでいく必要を感じないということがあるのでは…「読み上げない」ことがあたり前になれば皆さんが事前に読んでこられ、意見が出され、それについて区から説明を頂き、そこから「議論」に発展する可能性がでてくると考える。ぜひとも「読み上げ」の廃止をご検討頂きたい。(上川委員)【事後シート】</p> <p>コロナ禍の中の区政会議、全体会議の運営は大変困難と思います。限られた時間の中で参加者の発言は遠慮がちになります。特に複数質問は。問題意識を持って居る参加者も限られています。(発言しない参加者がいます)</p> <p>●部会会議の開催にあたりまして、テーマを2～3程用意されたいかがですか。 各委員が書かれた内容を共有して論議する。 …本来は、連合町会長会議で各テーマで議論が最適と考えています。 久保は連合町会長の役職は防犯担当ですが議論がない。 ●区役所と地域の議論が不十分な事からいつも同じプラン設計となり、温度差となっています。(久保委員)【事後シート】</p> <p>時間が制限されているので、できるだけ多くの出席者のご意見を伺い、意見交換ができるよう工夫していただければ、と思います。資料を読み上げるだけの時間は、必要ないと思いました。(高市委員)【事後シート】</p> <p>コロナ禍の中、会議時間に制限があることは分かるが、多くの委員にせつかく参加してもらっているの、一人当たり1分だけでも発言する機会を設けてほしい。(横井委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>感染対策のため短時間での開催となり、区政会議委員の皆さまからの発言の機会が少なくなってしまうと思いますが、当日ご発言できなかった際には、事後のご意見シートでご意見をいただき、後日区役所の考え方をお示しさせていただいているところです。</p> <p>会議の開催にあたりましては、事前に資料を送付し、区政会議委員の皆さまに事前に資料を読んでいただき、区役所側の説明をこれまでよりも短くするなど、区政会議委員の皆さまにご発言いただける機会を多くしてまいります。</p> <p>また、部会の開催にあたりましては、区政会議全体会当日や事後のご意見シートでいただいたご意見をふまえてテーマを設定するなど、より良い会議となるよう進めてまいります。</p>	①
72	R3.7	第1回区政会議	<p>【誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまちについて】 経営課題3「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち」について意見を述べさせて頂きます。高齢者(特に後期高齢者で、家族やヘルパーさんの支援を受けておられないひとり暮らしの方など)にもう少し、きめ細やかな支援が必要なのではないでしょうか？例えばコロナワクチン接種につきましても、ご自分で予約ができて会場に足を運べるような高齢者の方はよいのですが、家族や支援を受けておられない高齢者の方は希望していてもワクチン接種を受けることは大へん難しいことです。又、昨年8月頃特別定額給付金が支給されましたが申請用紙に記入することができず希望していても受け取っておられない方もありました。そんな方々へのお声かけや支援の方法はないのでしょうか？そもそもほんとうに支援(特に介護サービス)が必要になっても、その手続きさえできないで不自由な生活しておられる方が、かなり大勢いらっしゃるように思われます。声無き声にも耳を傾けられるようなきめ細やかな行政のあり方を希望します。(岡島委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>阿倍野区では地域における見守りのネットワークを強化し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、阿倍野区社会福祉協議会内に「見守り相談室」を設置しています。</p> <p>「見守り相談室」では、地域とのつながりを持たない、社会から孤立した状態の方や支援が届いていない方に対して、福祉専門職がねばり強くアウトリーチ(本人から要請がない場合でも積極的に向かい行く援助)を行い、地域社会で安心して暮らせるように、適切に地域の見守り活動や福祉サービス等につないでいます。</p> <p>区内10地域ごとに地域の状況に精通した「地域福祉コーディネーター」を配置し、支援が必要な方への個別支援を行うため「見守り相談室」と連携しながら、個別相談への助言や情報提供、緊急時における一時的な相談支援などを行っています。</p> <p>区内に3か所設置されている地域包括支援センターは、各地域福祉コーディネーターと連携・協働しながら、介護に関する相談や悩みはもちろん、健康や福祉、医療に関することなど、さまざまな相談に対応しています。</p> <p>地域に気になる高齢者やご家族がおられれば、このような相談支援機関へご連絡いただけるよう、広報・周知に努めてまいります。</p>	④
73	R3.7	第1回区政会議	<p>【広聴事業におけるオンラインアンケートについて】 令和2年度、阿倍野区運営方針P.43 5-1-2「区の広聴事業」改善策のところで、「オンラインアンケートも活用」とありますが、令和3年度で取り組まれる予定でしょうか？(高市委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>令和2年度より、「窓口対応等にかかる来庁者への調査(評価シート)の実施」において、大阪市行政オンラインシステムを活用してオンラインでもご回答いただけるようにしています。また、令和3年度より、「区民モニターアンケート調査」において、同システムを活用してオンラインでもご回答いただけるよう取組みを進めています。</p>	①

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
74	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和2年度運営方針自己評価 3-1-1〔地域による見守り体制の充実〕について】</p> <p>コロナ禍において、生活課題を持つ人がより一層苦しい状況となり、各相談窓口には生活困窮等の様々な相談が多く寄せられ、その中で今までキャッチできなかった、認知症をはじめ支援を要する方の把握も増加したのではないのでしょうか。また、閉じこもりの生活の中で、症状が進行したり、問題が深刻化したケースも非常に増えていることは全国的に言われています。地域の福祉活動もほとんどが中止となり、見守りやサポートが困難な状況にあると思います。そんな中で、各関係者の方は大変ご苦労されていると思いますが、令和2年度の取組内容が従来と同じ内容なので、もう少し具体的に取組み状況をお聞きしたいと思います。</p> <p>・2年度において特に相談状況の変化と、それに対する個別対応やネットワークづくりの支援等があれば教えてください。</p> <p>・昨年より要援護者名簿の新規の登録者が減っているのは何か原因がありますか。(元年度の実績の新規登録者がP.32では1,222件となっていますが、646件では?)</p> <p>・転出等による削除数の内訳は?</p> <p>・登録者数は、障がい手帳や介護保険認定、認知症の出現率等から計算して、どの程度の割合ですか?</p> <p>・「見守り訪問等のボランティア活動」56,367回は、具体的にどのような活動をしていただいているのですか?</p> <p>・「あべのあんしんステーション」に協力されている団体等からの連絡で把握したケースはどのくらいありますか?</p> <p>・地域福祉が進んだと感じる区民の割合が、28.8%から49.6%と大幅に増加していますが、どのような調査方法ですか?(調査対象者及び人数等)</p> <p>(中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>・阿倍野区役所では、庁舎1階に「仕事・生活・自立相談あべの」を開設し、生活困窮者自立支援事業を実施。令和2年度の相談受付件数は、住宅確保給付金関係を含め、前年度の2.6倍に増加。コロナのため訪問支援は減少し、ハローワーク同行訪問により就職決定につながっています。(相談受付件数 令和元年度228件、令和2年度604件)</p> <p>・見守り相談室による相談は、令和2年度は経済・生活問題や保健・医療などが多くなり、全体で前年度より件数が24%増となり、コロナのため家庭訪問による対応が減少、電話対応が多くなりました。[電話対応の占める割合:46%(令和元年度)→57%(令和2年度)]</p> <p>・昨年より要援護者名簿の新規登録件数が減っているのは、様々な地域での活動が減少していることが影響していると考えられます。(令和元年度の新規登録者はご指摘のとおり、646件です。お詫びして訂正させていただきます。)</p> <p>・転出等による削除の内容</p> <p>死亡、転出、施設入所、長期入院、本人申出(家族同居)</p> <p>・登録者数3,919人(令和3年7月1日現在)行政情報登載者のうち約55%が同意のうえ登録、希望による登録者は、1,100人程度</p> <p>・見守り訪問等のボランティア活動(内訳件数)見守り訪問(個別訪問)9,394見守り活動(子どもの見守り等)35,531配食サービス1,327 食事サービス 319百歳体操773 なにわ元気塾 220ふれあい喫茶107 など</p> <p>・あべのあんしんステーションに協力されている団体等からの連絡で把握したケースは現時点ではありません。(令和3年6月25日現在79施設)</p> <p>・区民モニターアンケート</p> <p>調査対象:無作為に抽出した18歳以上(令和2年4月1日現在)の阿倍野区民2,000名</p> <p>調査期間 令和2年9月16日～令和2年9月30日</p> <p>調査方法 調査票の送付による配布と返信封筒による回収</p>	④
75	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和3年度運営方針 3-1-1〔みんなで支えあう地域づくり〕について】</p> <p>コロナ禍において、地域でのつながりづくり、要援護者の社会参加の場づくりが困難な状況が続いており、新たな発想と取組が必要ではないのでしょうか?認知症の支援は、「あべのオレンジメール」徘徊時の発見・保護以外にも必要です。認知症カフェ等の活動も困難となっている中で、感染リスクを抑えながら、認知症の当事者がいきいきと活動できる場を作り出す。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩の会や買い物 ・スーパー等の協力によるスローショッピング ・公的機関や会館等でのガーデニング等の活動 <p>・当事者の方によるミニ講演会や読書会など、地域の中で、活動できる場・役割を持つ場を工夫して創造し、阿倍野区独自で取組みをサポートする仕組みがあればよいと思います。</p> <p>(中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>大阪市では、地域の中で認知症の方やその家族が気軽に立ち寄ることができ、悩みごとの相談や情報交換等を通じて孤立予防や介護負担感の軽減を図ることができる場「集う場(認知症カフェ等)」の取組みを支援しています。</p> <p>「集う場(認知症カフェ等)」の運営・開催の支援は、認知症強化型地域包括支援センター(当区では、阿倍野区地域包括支援センター)に配置している認知症地域支援推進員が行っています。</p> <p>阿倍野区には5か所の認知症カフェがあります。新型コロナウイルス感染拡大が続くなか、再開できない状況が続いていますが、アフターコロナを見すえ、飲食は行わず、体操を行うなどを検討している団体もあると聞いています。</p> <p>まずは、ワクチン接種を促進し、新型コロナウイルス感染拡大を抑制することが急務と考えられますが、今後、支援対象団体のご意見もお聞きしながら、新たな集う場のあり方について、ご議論させていただければと考えております。</p>	③

[分類]

- ①当年度(2年度)において対応
- ②3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	区政会議における意見	区政会議における回答	対応方針	分類
76	R3.7	第1回区政会議	<p>【令和3年度運営方針 3-1-2〔受け止める相談支援体制の充実〕について】</p> <p>これは、従来の〔地域福祉計画推進支援事業〕の組み換えですか？地域福祉計画支援事業は継続し、新たな指標として位置づけていただきたいと思います。つながる場とは具体的にどのような場ですか？通年での回数は？予算は0ですか？ (中村委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>つながる場(総合的な支援調整の場)とは、複合的な課題を抱えた人を適切な支援につなげるため、区役所が「調整役」となり、さまざまな分野の相談機関や地域の関係者などが一堂に会し、世帯全体の支援方針を検討・共有するとともに、支援にあたっての役割分担を明確にするための場です。</p> <p>8050問題など複合的な課題を抱えた人に対し、専門家等(スーパーバイザー)の助言を活用しながら、これまでに令和元年度4回、令和2年度4回、つながる場を開催いたしました。</p> <p>また連携に向けて、各相談支援機関を紹介する「つながるガイドブック」を作成・配布し、連携ツール等の開発や、相談支援機関等を対象とした研修会等を開催しています。</p> <p>交通費や消耗品費、通信運搬費などで1区あたり148千円の配付予算があり、別途福祉局予算で会計年度任用職員の配置やスーパーバイザーの派遣要請を行っています。</p>	④
77	R3.7	第1回区政会議	<p>【登下校時の安全確保について】</p> <p>1-2-2交通安全に関する取組みについて、先日千葉県で発生した学童の下校時の災害について、会議の際にも意見がありましたが、PTA側が市に対して歩道柵をつけて欲しいとの要望があったのに予算の関係で後廻しになっていたとの報道がなされていた。阿倍野区内にも沢山の校区があるが大丈夫でしょうか？</p> <p>私も毎朝、子どもの見守りボランティアをしていますが危険を感じている事が有ります。もう一度阿倍野区も洗い直してはいかがでしょうか。一番良く判っているのは見守りボランティアだと思う。</p> <p>方法としてはボランティアと学校で協議し、それが学校、区政、警察と審議するのが最良と思う。 (宮本委員)【事後シート】</p>	→(事後シート)→	<p>区としても登下校時の安全確保は重要な課題と認識しているところです。これまでの「通学路安全プログラム」に加え、区として、学校、建設局、警察を含めた通学路の安全確認とその対策を検討するプロジェクトチームを新たに立ち上げ、子ども見守りボランティアの方々などのご意見も伺いながら危険個所の洗い出しや対応策の検討を行っていきます。</p>	①